

**平成29年度**

# **保健活動のまとめ**

**大口町保健センター**

## 大口町健康の町宣言

健康は、まちの財産であり、しあわせの源であります。

心身ともに健康であることは、町民すべての願いであり、活力あるまちづくりのうえで、最も大切なことでもあります。

私たち大口町民は、一人ひとりが健康でしあわせな、明るい活力ある大口町を築くため、ここに「健康の町」を宣言します。

- 1 スポーツやレクリエーションをとおして、健康なところとからだをつくります。
- 2 町民一人ひとりが調和のある、健康で豊かな家庭をつくります。
- 3 健康づくりを地域にひろめ、健康で豊かなまちをつくります。

# 目 次

## 1 大口町の概要

1	町の位置及び紹介	1
2	大口町医療機関等分布図	2
3	人口	2
4	人口動態統計年次推移	5
5	選択死因別死亡数・(人口10万対)年次推移	5
6	大口町機構図	7
7	保健センターの概要	8
8	保健活動の変遷	10

## 2 母子保健活動

1	母子保健事業の取り組み・母子保健管理体系	16
2	一般不妊治療費助成事業	17
3	母子健康手帳の交付	17
4	妊産婦乳児健康診査	18
5	家庭訪問	18
6	母親教室	19
7	すくすく子育てサロン	19
8	フレッシュママの会	19
9	子育て相談室	20
10	リフレッシュママの会	20
11	乳幼児健康診査	21
12	離乳食教室	23
13	たんぽぽ教室	24
14	子育て支援・他機関との連携	25

## 3 成人保健活動

1	成人保健の取り組み・成人保健管理体系	27
2	健康手帳の交付	28
3	特定健診・特定保健指導	29
4	がん検診	34
5	わかば健康診査	39
6	肝炎ウイルス検診	40
7	ヘリコバクター・ピロリ抗体及びペプシノゲン検査	41
8	骨密度測定	42
9	健康教育	43
10	健康相談	46
11	家庭訪問	47

## 4 歯科保健活動

1	歯科保健事業の取り組み・歯科保健管理体系……	48
2	幼児期歯科健康診査……	49
3	妊婦歯科健康診査……	51
4	歯周病予防健康診査……	52
5	歯周病相談……	54
6	8020・9018運動 歯の健康コンクール……	55
7	歯の健康づくり得点……	55
8	歯と口の健康週間（歯の健康センター）……	56

## 5 健康推進事業

1	健康推進員活動……	57
2	健康おおぐち21第二次計画の推進……	63

## 6 感染症予防事業

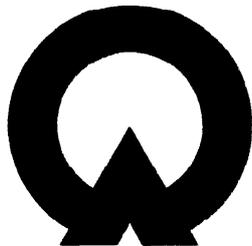
1	予防接種……	69
2	新型インフルエンザ等……	73

## 7 その他

1	学生実習指導……	75
2	在宅医療介護連携……	76

# 1 大口町の概要

# 1 町の位置及び紹介



大口町は、愛知県の西北部にあり、犬山扇状地の東南部に位置しています。東西約3.6キロメートル、南北約6.1キロメートル、総面積13.61平方キロメートルです。北は扶桑町、北東は犬山市、北西から西は江南市、南から南東は小牧市に接しています。

名古屋市より直線距離にしてわずか18キロメートルの近郊地域に位置していますが、五条川をはじめとした恵まれた自然や田園地帯が広がることから、良好な環境を有する住宅地としての魅力が高まっています。

町中央部を国道41号線が南北に走るとともに、周辺には東名高速道路、名神高速道路、中央自動車道、名古屋都市高速道路がネットワークを形成しています。

## 2 大口町医療機関等分布図



## 3 人口

(1) 行政区別世帯数 (単位：世帯)

地区	区分	世帯
秋田		823
豊田		694
大屋敷		590
外坪		260
河北		594
余野		2,112
上小口		790
中小口		874
下小口		1,702
垣田		378
さつきヶ丘		344
合計		9,161

(2) 行政区別人口

(単位：人)

地区	区分	人口		
		男	女	総数
秋田		1,175	1,118	2,293
豊田		968	947	1,915
大屋敷		783	783	1,566
外坪		379	380	759
河北		854	907	1,761
余野		2,813	2,687	5,500
上小口		1,088	984	2,072
中小口		1,163	1,169	2,332
下小口		2,156	1,878	4,034
垣田		337	482	819
さつきヶ丘		412	423	835
合計		12,128	11,758	23,886

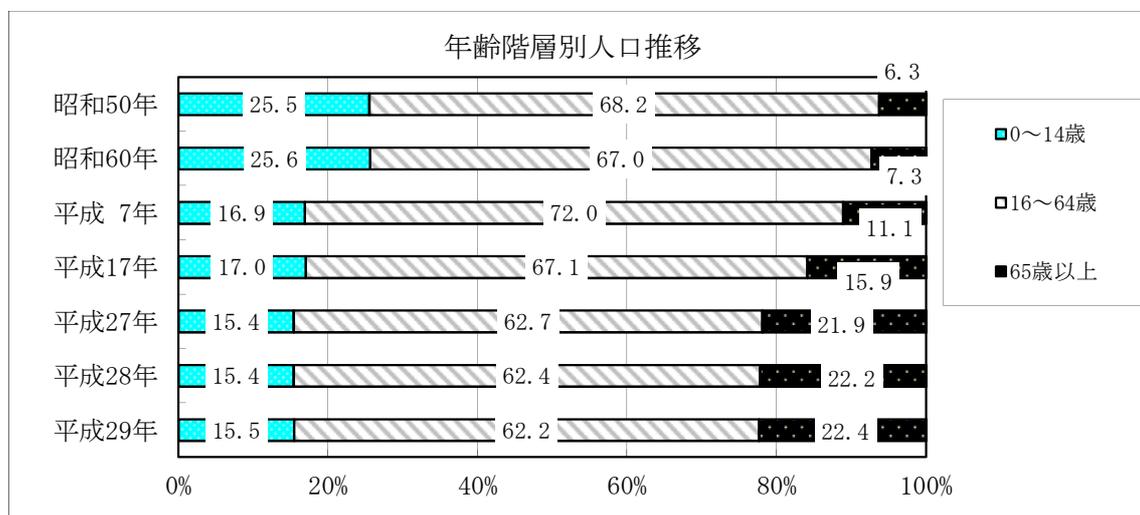
平成29年9月30日現在 指定区別年齢別男女別人口調 (提供：戸籍保険課) による

(3) 年齢階層別人口の推移

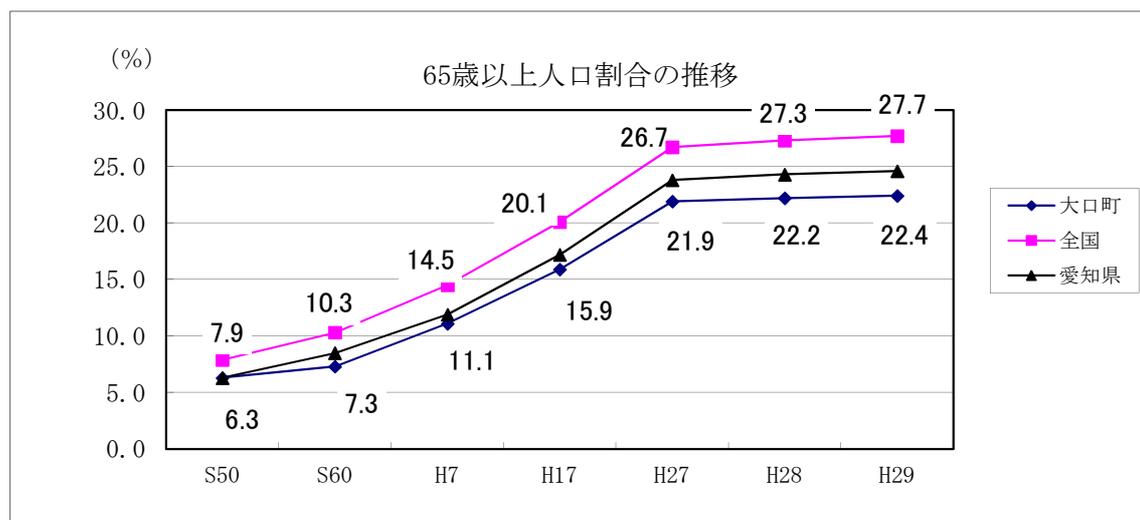
(単位 上段：人 下段：%)

		昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成27年	平成28年	平成29年
総人口		15,894	16,195	19,031	21,261	23,348	23,645	23,886
年齢階層区分	0～14歳人口	4,052	4,153	3,223	3,616	3,594	3,641	3,693
	比率	25.5	25.6	16.9	17.0	15.4	15.4	15.5
	15～64歳人口	10,840	10,852	13,702	14,257	14,645	14,764	14,854
	比率	68.2	67.0	72.0	67.1	62.7	62.4	62.2
	65歳以上人口	1,002	1,190	2,106	3,388	5,109	5,240	5,339
	比率	6.3	7.3	11.1	15.9	21.9	22.2	22.4
	40歳以上人口	4,466	5,216	8,648	10,189	12,479	12,727	12,884
比率	28.1	32.2	45.4	47.9	53.4	53.8	53.9	
75歳以上		308	421	873	1,364	2,178	2,346	2,486
比率		1.9	2.6	4.6	6.4	9.3	9.9	10.4
全国 65歳以上人口比率		7.9	10.3	14.5	20.1	26.7	27.3	27.7
愛知県 65歳以上人口比率		6.3	8.5	11.9	17.2	23.8	24.3	24.6

資料：全国・愛知県は、総務省統計局発表のもの。各年、10月1日の人口に基づく。



※端数処理により100%にならない年があります。



(4) 地区別高齢化率

(単位：人)

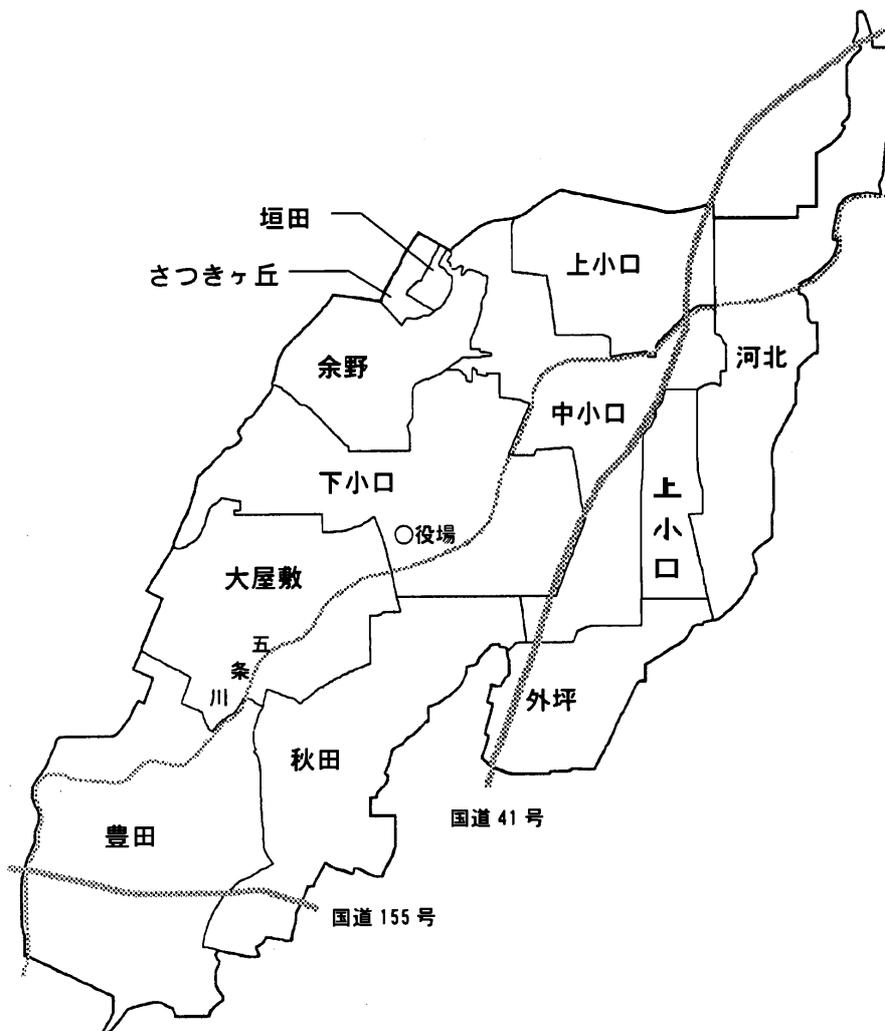
地 区	秋田	豊田	大屋敷	外坪	河北	余野
人 口	2,293	1,915	1,566	759	1,761	5,500
65歳以上人口	548	540	472	246	383	813
比 率 (%)	23.9	28.2	30.1	32.4	21.7	14.8

地 区	上小口	中小口	下小口	垣田	さつきヶ丘	合計
人 口	2,072	2,332	4,034	819	835	23,886
65歳以上人口	434	489	910	224	280	5,339
比 率 (%)	20.9	21.0	22.6	27.4	33.5	22.4

平成29年9月30日現在 指定区別年齢別男女別人口調 (提供：戸籍保険課) による

〈行政区域図〉



#### 4 人口動態統計年次推移

(単位：人 率：1,000対)

年	種別	人口	出生				死亡				自然増減		乳児死亡(再掲)				新生児死亡		周産期死亡		死産		婚姻		離婚	
			総数	男	女	率	総数	男	女	率	実数	率	総数	男	女	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成	2	17,464	156	82	74	8.9	85	52	33	4.8	82	4.7	-	-	-	-	(データなし)	3	3.0	7	42.9	124	7.1	17	0.97	
	7	19,027	213	106	107	11.2	119	70	49	6.3	94	4.9	1	1	-	4.7	(データなし)	2	9.4	5	22.9	132	6.9	33	1.73	
	17	21,602	229	123	106	10.7	157	83	74	7.4	72	3.3	1	1	-	4.4	-	-	-	9	37.8	139	6.5	44	2.04	
	22	22,199	234	123	111	10.5	170	99	71	7.7	73	3.3	-	-	-	-	-	-	-	4	17.1	125	5.6	41	1.85	
	25	22,679	199	100	99	8.8	171	98	73	7.5	28	1.2	-	-	-	-	-	-	-	5	24.5	118	5.2	29	1.28	
	26	22,922	241	128	113	10.5	174	95	79	7.6	67	2.9	2	1	1	8.3	-	-	2	8.2	5	20.3	119	5.2	33	1.44
	27	23,274	229	111	118	9.8	184	96	88	7.9	45	1.9	-	-	-	-	-	-	2	8.7	6	25.5	128	5.5	36	1.55
	28	23,576	233	127	106	9.9	186	88	98	7.9	47	2	-	-	-	-	-	-	1	4.3	4	16.9	121	5.1	41	1.74
愛知県	H28	7,324,000	64,226	32,985	31,241	8.8	65,227	34,503	30,724	8.9	△ 1,001	△ 0.1	117	58	59	1.8	57	0.9	237	3.7	1,182	18.1	40,671	5.6	12,464	1.70
全国	H28	125,020,000	976,978	501,880	475,098	7.8	1,307,748	674,733	633,015	10.5	△ 330,770	△ 2.6	1,928	980	948	2.0	874	0.9	3,516	3.6	20,934	21.0	620,531	5.0	216,798	1.73

※人口は、大口町が愛知県県民生活部統計課発表の総人口、愛知県及び全国が総務省統計課推計の日本人人口で各年10月1日現在である。

※愛知県・全国：愛知県衛生年報および厚生労働省人口動態より

<率算出式>

$$\text{出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率} = \frac{\text{出生} + \text{死亡} + \text{自然増加} + \text{婚姻} + \text{離婚数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{死産数}}{\text{出産(出生+死産)数}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡・新生児死亡率} = \frac{\text{乳児死亡} + \text{新生児死亡}}{\text{出生数}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{妊娠満22週以後の死産数} + \text{早期新生児死亡数}}{\text{出生数} + \text{妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\text{死因別死亡率} = \frac{\text{死因別死亡数}}{\text{人口}} \times 100,000$$

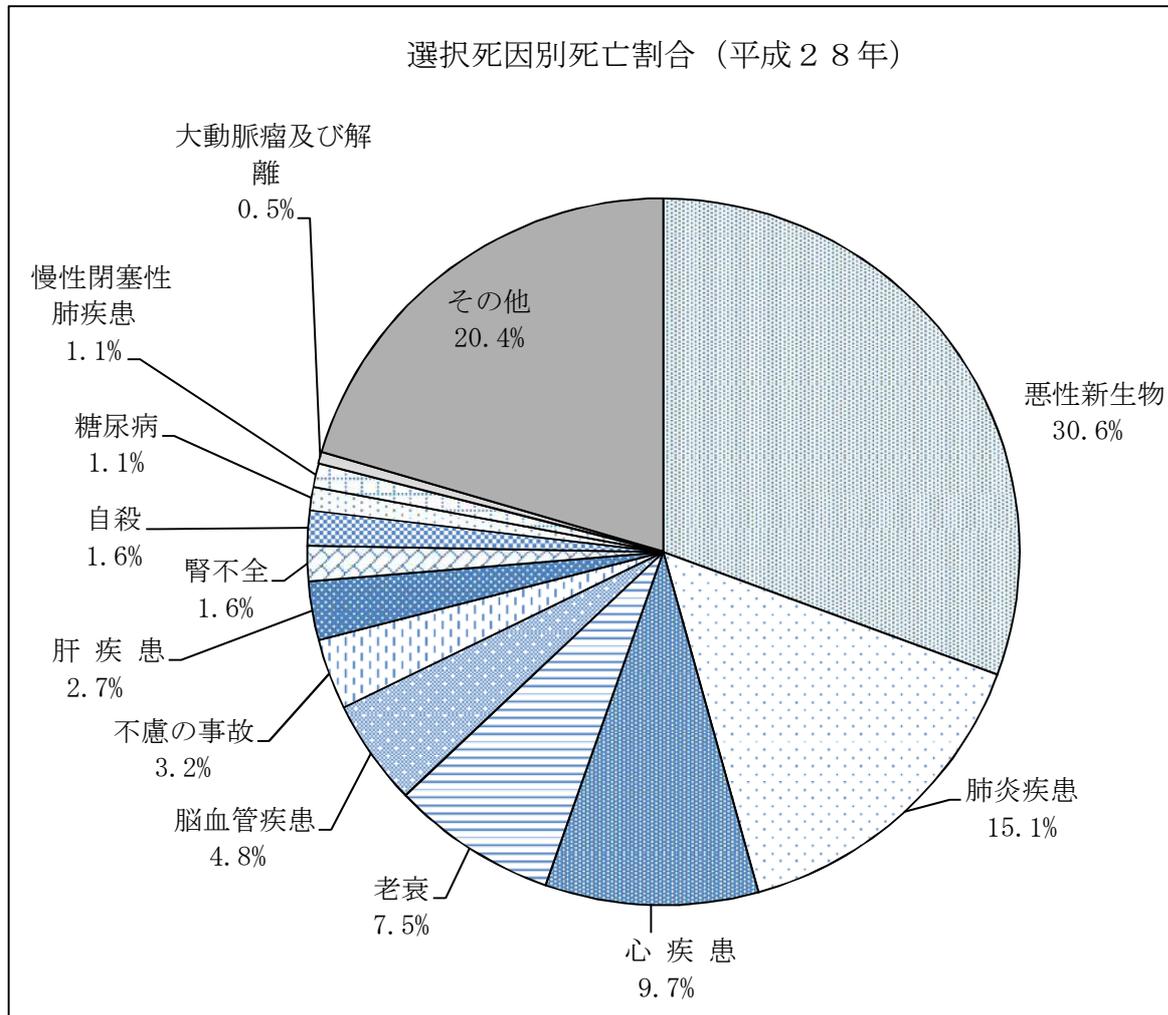
#### 5 選択死因別死亡数・率(人口10万対)年次推移

(単位：人)

年	死因	総数		結核		悪性新生物		糖尿病		高血圧		心疾患		脳血管疾患		大動脈瘤及び解離		肺炎		慢性閉塞性肺疾患		喘息		肝疾患		腎不全		老衰		不慮の事故		自殺		その他	
		実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率		
平成	2	85	-	25	143.2	-	-	2	11.5	14	80.2	10	57.3	-	-	7	40.1	-	-	-	-	1	5.7	3	17.8	4	22.9	6	43.4	4	22.9	9	51.5		
	7	119	1	37	194.5	2	10.5	2	10.5	14	73.6	16	84.1	-	-	12	63.1	1	5.3	-	-	1	5.3	2	10.5	4	21.0	7	36.8	3	15.8	17	89.3		
	17	157	-	46	216.4	2	9.4	-	-	30	141.1	19	89.4	-	-	19	89.4	3	14.1	-	-	1	4.7	4	18.8	4	18.8	6	28.2	2	9.4	21	98.8		
	22	170	-	54	243.3	1	4.7	-	-	27	127.4	11	51.9	1	4.7	22	103.8	3	13.5	-	-	1	4.5	5	22.5	10	45.0	7	31.5	4	18.0	24	108.1		
	25	171	1	49	216.1	-	-	-	-	18	79.4	16	70.5	3	13.2	21	92.6	0	-	-	-	4	17.6	2	8.8	21	92.6	5	22.0	7	30.9	24	105.8		
	26	174	-	42	183.2	1	4.4	-	-	28	122.2	18	78.5	5	21.8	16	69.8	3	13	-	-	2	8.7	4	17.5	15	65.4	6	26.2	5	21.8	29	126.5		
	27	184	-	59	253.5	-	-	-	-	18	77.3	19	81.6	4	17.2	17	73.0	-	-	-	-	1	4.3	4	17.2	16	68.7	9	38.7	3	12.9	34	146.1		
	28	186	-	57	241.8	2	8.5	-	-	18	76.3	9	38.2	1	4.2	28	118.8	2	9	-	-	5	21.2	3	12.7	14	59.4	6	25.4	3	12.7	38	161.2		
愛知県	H28	65,227	128	19,087	260.6	564	7.7	257	3.5	8,288	113.2	4,853	66.3	969	13.2	5,321	72.7	698	9.5	57	0.8	745	10.2	1,088	14.9	5,254	71.7	1,936	26.4	1,055	14.4	14,927	203.8		
全国	H28	1,307,748	1,892	372,986	298.3	13,480	10.8	6,841	5.5	198,006	158.4	109,320	87.4	18,145	14.5	119,300	95.4	15,686	12.5	1,454	1.2	15,773	12.6	24,612	19.7	92,806	74.2	38,306	30.6	21,017	16.8	258,124	206.5		

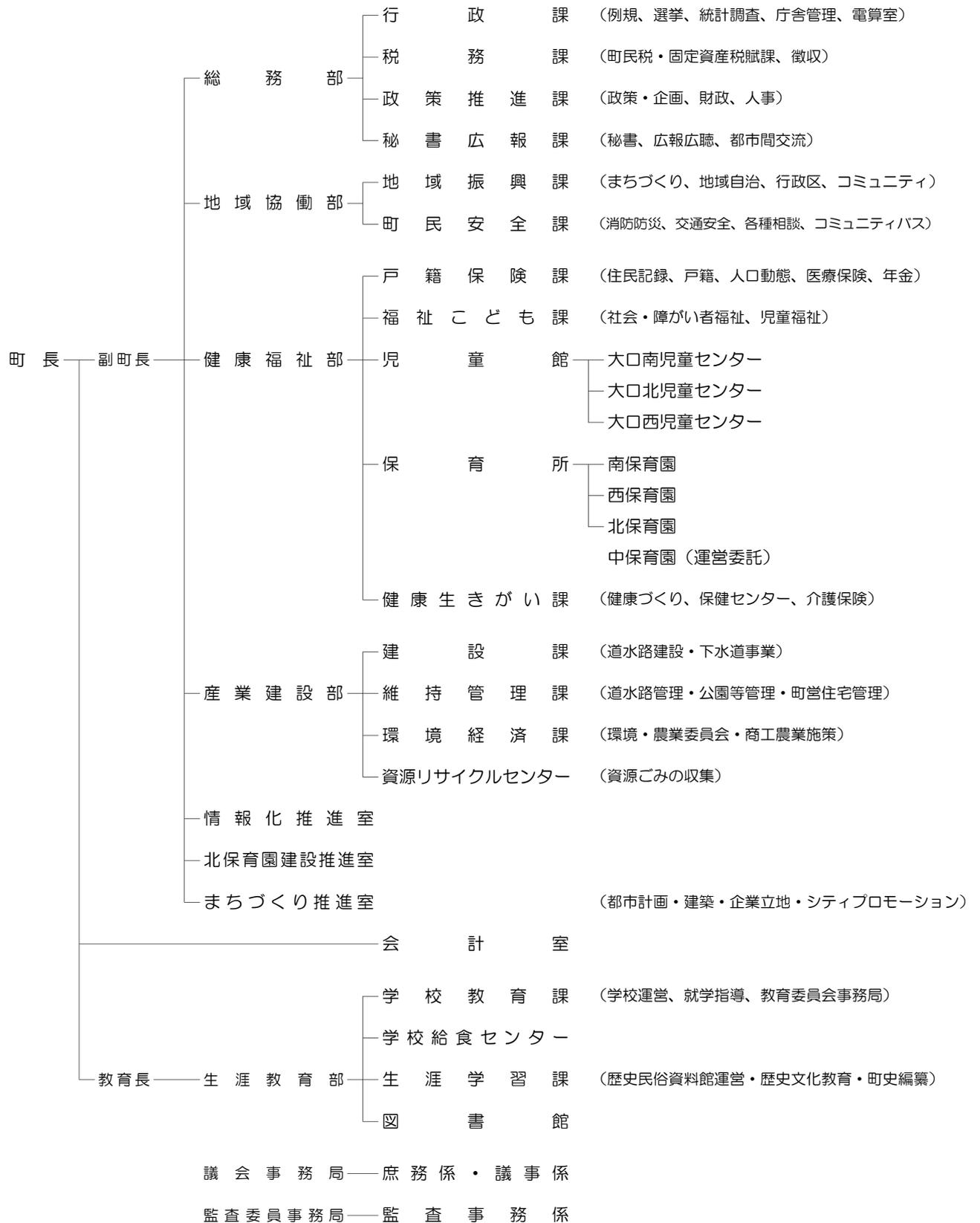
※大口町：平成28年愛知県衛生年報、愛知県・全国：愛知県衛生年報および厚生労働省人口動態より

選択死因別死亡割合



# 6 大口町機構図

平成29年4月1日現在



## 7 保健センター（健康文化センター）の概要

平成 10 年健康づくりの中核拠点、健康と福祉の交流拠点、歴史と文化のふれあい拠点として、健康文化センターが建設され、保健センターも健康文化センター内に移転した。

### (1) 施設の概要（健康文化センター含む）

- ・位置 丹羽郡大口町伝右一丁目 3 5 番地
- ・本館 構造 鉄筋コンクリート造 5 階建  
(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)
  - 1 階 1,847.40 m<sup>2</sup> 保健センター（専用面積 974.78 m<sup>2</sup>）
  - 2 階 1,639.98 m<sup>2</sup> 保健センター（専用面積 611.92 m<sup>2</sup>）  
社会福祉協議会
  - 3 階 1,106.63 m<sup>2</sup> 歴史民俗資料館
  - 4 階 1,106.63 m<sup>2</sup> 研修センター
  - 5 階 1,106.63 m<sup>2</sup> トレーニングセンター
  - PH 階（機械室） 167.04 m<sup>2</sup>
- ・機械棟 構造 鉄筋コンクリート造  
床面積 168.00 m<sup>2</sup>
- ・駐輪場 構造 鉄骨造  
床面積 40.00 m<sup>2</sup>  
(延床面積 7,182.31 m<sup>2</sup>)
- ・敷地面積 10,413.95 m<sup>2</sup>  
(内訳) 本体施設 5,069.95 m<sup>2</sup>  
駐車場 5,344.00 m<sup>2</sup> (平成 27 年度に拡張)
  
- ・本体施設の工期
  - 着工 平成 9 年 6 月 24 日
  - 竣工 平成 10 年 9 月 24 日
- ・使用開始年月日  
平成 10 年 11 月 9 日

### (2) 保健センターの主要施設

- 1 階 事務室・応接室・栄養実習室・栄養指導室・会議室・相談室・機能回復  
訓練室・作業室・多目的室・検査室・授乳室
- 2 階 待合室・予診室・計測室・診察室・歯科室・保健指導室・聴力室・カルテ  
庫・消毒室・検査室・プレイルーム・授乳室

### (3) 事務分掌

- ア 健康づくり推進事業
- イ 地域保健（医療）対策事業
- ウ 感染症等予防事業
- エ 成人保健事業
- オ 母子保健事業
- カ 健康文化センター管理事業

### (4) 主な事業内容

母子保健…母子健康手帳交付説明会、妊婦相談、母親教室、妊産婦・乳児健康診査、妊婦歯科健診、フレッシュママの会、リフレッシュママの会、乳幼児健康診査（4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児）、離乳食教室、子育て相談室、すくすく子育てサロン、たんぼぼ教室、2歳児歯科健診、一般不妊治療費助成事業、家庭訪問（出生児・低出生体重児・乳幼児健診事後フォロー）、子育てサークル等支援

成人保健…がん検診（胃・大腸・子宮・乳・肺・前立腺）、結核検診、特定健康診査・特定保健指導、肝炎ウイルス検診、ピロリ抗体及びペプシノゲン検査、一般健康診査、わかば健康診査、歯周病予防健診、骨密度測定、健康手帳交付、健康相談、健康教育、家庭訪問、健康づくり自主グループ支援

予防接種…集団接種：BCG

個別接種：【乳幼児・学童】

四種混合、急性灰白髄炎（不活化ポリオ）、B型肝炎、二種混合、小児肺炎球菌(13価)、麻しん・風しん混合（MR）、麻しん、風しん、ヒブ、水痘、日本脳炎、子宮頸がん(2価・4価)

【高齢者】

季節性インフルエンザ、肺炎球菌(23価)

任意接種：風しん抗体検査及び風しんワクチン接種費用助成事業

高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業

健康推進事業…健康おおぐち21第二次計画の推進事業、健康推進員活動、健康まつり等

その他…健康文化センター維持管理

## 8 保健活動の変遷

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査に対する補助金一般財源化される(4月)</li> <li>・愛知県特定不妊治療費助成事業開始(7月1日)</li> <li>・赤ちゃん訪問を、第1子全員と第2子以降の希望者に実施(11月～)</li> <li>・母子保健システム、予防接種電算化推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団がん検診に、前立腺がん・乳がん(MMGを導入)を実施し、自己負担金を徴収する</li> <li>・住民検診時・わかば健診時に簡易体力測定を実施。まとめを愛知県公衆衛生研究会で発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅当番医制運営補助金一般財源化(4月)</li> <li>・保健師2名・看護師1名採用(4月)</li> <li>・保健師1名嘱託採用(4～3月)(訪問看護ステーション)</li> <li>・保健師1名育休(4月～3月) <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理栄養士1名育休(4月～3月)</li> </ul> </li> <li>・愛知県広域災害救急医療情報システムの設置及び運営に関する協定書変更(6月)</li> <li>・児童虐待の防止等に関する法律の一部を改正する法律の施行(10月)</li> <li>・健康おおぐち21「元気体操」作成(2月)</li> <li>・「健康おおぐち21」推進イベント「春だ!笑顔だ!元気まつり」を大口町元気な町づくり事業(協働事業)で実施(3月5日)</li> <li>・健康おおぐち21シンボルマーク公募し決定(3月)</li> <li>・大口町次世代育成支援行動計画を策定(3月)</li> <li>・大口町訪問看護ステーション廃止(3月)</li> <li>・虐待防止連絡会担当者会議開始(3月)</li> <li>・愛知万博「愛・地球博」開催(3月)「おおぐちデイ」(3月28日)</li> </ul>
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの健康に関する連絡会開催(月1回)</li> <li>・BCG直接接種となる(4月)</li> <li>・日本脳炎予防接種の積極的接種勧奨を見合わせる(5月)</li> <li>・日本脳炎予防接種第3期接種を廃止(7月)</li> <li>・二種混合予防接種第1期接種を廃止(7月)</li> <li>・ちゅーりっぷの会中止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本健康診査を除く各種検診を有料とする</li> <li>・歯周病予防健診(節目年齢)を医療機関委託で実施(8月～10月)</li> <li>・わかば健診時歯科健診実施</li> <li>・8020運動表彰を「健康ウォーク&amp;元気まつり」時に実施</li> <li>・介護予防教室(しなやかお達者教室)をあいち健康プラザとタイアップで実施</li> <li>・大屋敷ひだまりの会休止(3月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護法施行(4月)</li> <li>・発達障害支援法施行(4月)</li> <li>・医療観察法施行(7月)</li> <li>・健康おおぐち21推進イベントとウォーキング大会を1本化し協働事業で実施</li> <li>・健康おおぐち21シンボルマーク愛称公募し決定(11月)</li> <li>・第6次大口町総合計画策定(3月)</li> <li>・保健師1名退職(3月)</li> <li>・大口町母子通園事業試行(4月～3月)</li> <li>・在宅介護支援センター廃止(3月)</li> <li>・看護師1名育休(1月～3月)</li> </ul>

区分 年度	保 健 衛 生 行 政	法・その他	
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻疹風疹混合ワクチン接種施行（4月）</li> <li>・個別予防接種が二市二町共通要領にて実施となる（4月）</li> <li>・麻疹及び風疹の単抗原ワクチンも法定内接種となる（6月）</li> <li>・母親教室の名称を変更し、内容を改編し、パパママ教室を育児編・栄養編として実施（各年6回）</li> <li>・たんぽぽ教室を月2回実施</li> <li>・9か月児健診を10か月児健診とする</li> <li>・マタニティーホルダーを希望者に配布開始（1月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防教室（しなやかお達者教室）を豊田地区で実施</li> <li>・男性のための健康づくり教室元気UPヘルシーライフ教室実施</li> <li>・住民結核検診の対象が40歳以上となる</li> <li>・ひだまりの会（中小口）の健康チェックをハートフルへ委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターを町直営で開始（保健師1名福祉課へ異動）</li> <li>・看護師1名育休（4月～3月）</li> <li>・管理栄養士1名産育休（9月～3月）</li> <li>・改正介護保険法の施行</li> <li>・がん対策基本法の制定（6月） （施行は19年4月）</li> <li>・障害者自立支援法の施行（4月）</li> <li>・高齢者・障害者等の移動等の円滑化に関する法律（新バリアフリー法）の制定（6月）</li> <li>・健康保険法等の一部改正法（医療制度改革関連法）制定・公布（7月）</li> <li>・歯科衛生士（臨時）1名常勤採用（4月）</li> <li>・母子通園事業本格実施</li> </ul>
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦歯科健康診査を医療機関に委託で実施</li> <li>・プレママ交流会（栄養編・育児編）の実施</li> <li>・歯科健診の対象者を2歳3か月児とする</li> <li>・1歳6か月児健診時の歯科染めだしを廃止</li> <li>・子育て相談室に心理相談員を組み入れる</li> <li>・西小学校区連絡会発足（健康部会に参加）</li> <li>・妊婦健康診査の公費負担を4～9月までは4回、10月から7回で実施</li> <li>・一般不妊治療費の助成を実施（10月）</li> <li>・予防接種法施行規則の一部を改正する省令施行（12月）</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令（20年1月）</li> <li>・麻疹に関する特定感染症予防指針（20年1月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん検診の医療機関での視触診のみを廃止、集団での超音波による検診を導入</li> <li>・国保連合会事業として「ヨーガ」教室を実施</li> <li>・介護予防事業のための人材育成（貯筋体操ひろめ隊）講座を実施</li> <li>・介護予防連絡会開始（地域包括支援センターより発信）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師1名育休（4月～3月）</li> <li>・管理栄養士1名育休（4月～3月）</li> <li>・保健師1名育休（9月～3月）</li> <li>・健康おおぐち21中間評価を実施</li> <li>・健康まつり運営事業を「健康クラブ笑顔21」と協働契約で委託実施</li> <li>・老人保健法の改正（20年3月）</li> </ul>

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3期・4期麻疹風しん混合ワクチン接種施行(5月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国保連合会事業として生き生き教室実施</li> <li>特定健診、特定保健指導開始(4月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師1名育休(4月～3月)</li> <li>保健師1名育休(4月～3月)</li> <li>保健師1名育休(11月～3月)</li> <li>老人保健法の改正により、法律名が「高齢者の医療の確保に関する法律」に変更され施行(4月)</li> </ul>
21	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦健康診査の公費負担を14回で実施</li> <li>日本脳炎ワクチンに加え、「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」を定期の予防接種に用いるワクチンとして追加する(6月)</li> <li>予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳がん・子宮がん検診実施医療機関を拡大</li> <li>女性特有のがん検診推進事業開始(9月)</li> </ul>	<p>機構改革により、健康課から健康生きがい課となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健師2名採用</li> <li>看護師1名育休(4月～3月)</li> <li>保健師1名育休(4月～3月)</li> <li>保健師1名育休(5月～3月)</li> <li>保健師1名育休(3月～)</li> <li>アメリカで豚由来のインフルエンザウイルスの患者を確認と公表</li> <li>WHO「フェーズ6(流行)宣言」</li> <li>国「基本的対処方針」策定</li> <li>国「新型インフルエンザワクチン接種の基本方針」策定</li> </ul>
22	<ul style="list-style-type: none"> <li>3歳に対する日本脳炎初回接種の積極的勧奨が再開(4月)</li> <li>日本脳炎ワクチンが使用不可となり、「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」のみの使用</li> <li>第2期接種再開となる</li> <li>9歳以上13歳未満で第1期未接種者を接種対象とする特例が出る(8月)</li> <li>「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金事業」により、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部助成が開始(1月)</li> <li>妊婦健康診査の公費負担項目に子宮頸がん、GBSが追加。超音波検査の年齢条件がなくなり、検査は4回実施。乳児健康診査受診票が1回のみとなる</li> <li>パパママ教室、プレママ交流会の休止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性特有のがん検診事業クーポン券5月に発送</li> <li>1月に未受診者に受診勧奨通知</li> <li>前立腺がん検診定員を拡大</li> <li>介護・保険・健康の連携した取り組みを開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健師3名育休(4月～3月)</li> <li>管理栄養士1名育休(4月～3月)</li> <li>保健師1名退職(12月)</li> <li>第6期健康推進員開始</li> <li>地域包括支援センターをハートフル大口へ委託(4月)</li> <li>新型インフルエンザ(A/H1N1)ワクチン接種事業が終了(23年3月)</li> <li>国保・介護・健康の連携プロジェクト(PPKプロジェクト)の立ち上げ</li> </ul>

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健診8回目にHIV-1とクラミジア抗体検査を追加</li> <li>・子育て相談室の第1週目を廃止(平成24年1月～)</li> <li>・4か月健診時 母乳相談を開始(平成24年1月～)</li> </ul> <p>&lt;予防接種&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本脳炎の年齢枠が拡大(H7.6.1生まれ～H19.4.1生まれ 20歳未満の間接種可)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかば健診時に実施していた歯科健診を中止</li> <li>・大腸がん検診を各種団がん検診時に申し込みできる体制にする。</li> <li>・高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業開始(6月～)</li> <li>・歯周病予防健診を年間通じて実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師1名戸籍保険課へ異動</li> <li>・看護師1名産休育休(9月～3月)</li> <li>・保健師1名育休(4月～3月)</li> <li>・保健師1名退職(3月)</li> <li>・歯科口腔保健の推進に関する法律(平成23年8月10日公布)</li> <li>・ドアノッキング事業開始(24年1月～)</li> <li>・愛知県の新型インフルエンザ対策行動計画の改定(平成24年2月)</li> </ul>
24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北児童センターにて出張子育て相談を実施(単年)</li> <li>・一般不妊治療費助成事業の助成内容の変更(対象となる治療内容と助成額)</li> </ul> <p>&lt;予防接種&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月～尾張北部医療圏内での広域予防接種の開始</li> <li>・9月～ポリオに係る使用ワクチンが“生ワクチン”から“不活化ワクチン”に変更</li> <li>・11月～ジフテリア・破傷風・百日せき・ポリオ予防接種に使用するワクチンに「四種混合ワクチン」が追加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のがん検診の同日開催の実施</li> <li>・国保連合会事業としてポールウォーキング教室(12回)の実施</li> <li>・ポールウォーキングの自主グループの立ち上げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師1名育休(4月～3月)</li> <li>・保健師1名産休育休(5月～3月)</li> <li>・保健師1名採用(任期付き)</li> <li>・健康実態調査の実施</li> <li>・大口町制50周年</li> <li>・東海学園、(有)マーメイド、NPOウィル大ロススポーツクラブと健康づくり事業の推進に係る協定書を締結</li> <li>・電算システム「super保健師さん」から「健康かるて」へ変更</li> <li>・国保・介護・健康プロジェクトに福祉を加え、名称をPPKプロジェクトから元気づくりプロジェクトに変更</li> <li>・新型インフルエンザ等対策特別措置法(平成24年5月制定)</li> <li>・大口町新型インフルエンザ等対策本部条例(平成25年3月制定)</li> </ul>
25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低出生体重児訪問の実施(未熟児訪問、未熟児養育医療給付の市町村への権限移譲)</li> </ul> <p>&lt;予防接種&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BCGワクチンの接種期間の延長</li> <li>・子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌予防接種の定期接種の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関胃がん検診に胃内視鏡検査を導入</li> <li>・がん検診実施医療機関の追加(山田外科内科、みどりクリニック、伊藤整形内科あいち腰痛オペクリニック)</li> <li>・ポールウォーキングリーダー養成講座</li> <li>・元気づくりサポーター養成講座実施(東海学園にて)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種法の改正(平成25年3月30日公布、4月1日施行)</li> <li>・健康おおぐち21第二次計画策定(平成26年3月)</li> <li>・第7期健康推進員開始、任期2年となる</li> <li>・保健師1名採用</li> <li>・看護師1名育休(4月～3月)</li> <li>・保健師1名育休(4月～3月)</li> <li>・新型インフルエンザ等対策特別措置法(平成25年4月施行)</li> </ul>

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
25	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;予防接種&gt;</li> <li>・子宮頸がん予防接種の積極的勧奨の差し控え（6月～）</li> <li>・妊娠を予定または希望する女性とその夫に対する風しんワクチン接種費用の助成（7月～）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型インフルエンザ等対策政府行動計画策定（平成25年6月）</li> <li>・愛知県新型インフルエンザ等対策行動計画策定（平成25年11月）</li> </ul>
26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦乳児健診に加え、産婦健診の費用補助を開始（4月～）</li> <li>&lt;予防接種&gt;</li> <li>・水痘、高齢者肺炎球菌定期接種の実施（10月～）</li> <li>・乳幼児及び学童のA類定期予防接種において、愛知県広域予防接種開始（4月～）</li> <li>・同一ワクチンの接種間隔の上限が撤廃された</li> <li>・大人の風疹ワクチン接種費用の助成に加え、風疹抗体検査費用の助成を開始（4月～）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周病予防健診の対象者を40歳以上とし、無料とする。（4月～）</li> <li>・節目年齢（40・45・50・55・60歳）の人のがん検診の自己負担金を無料とする。</li> <li>・乳がん検診の拡充（MMGの年齢を35歳から引き下げ、超音波検査は、20歳以上は毎年受診可能とする。また、集団検診に加え、医療機関（さくら総合病院、犬山中央病院、江南厚生病院、伊藤整形内科あいち腰痛オペクリニック、すずいクリニック、山田外科・内科）での実施も開始</li> <li>・子宮頸がん検診の無料クーポン券の対象者を、20・40・45・50・55・60歳とする。</li> <li>・ヘリコバクターピロリ抗体及びペプシノゲン検査実施（11月～）</li> <li>・高齢者肺炎球菌予防接種費用助成事業の助成内容の変更（対象者）</li> <li>・「元気づくりサポーター養成講座」を戸籍保険課と合同で実施（全3回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防接種法の改正（平成26年3月28日公布、4月1日施行）（平成26年7月16日公布、10月1日施行）</li> <li>・保健師1名育休（4月～3月）</li> <li>・歯科衛生士（臨職）1名退職（3月）</li> <li>・大口町新型インフルエンザ等対策行動計画策定（平成27年3月）</li> </ul>
27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCG 予防接種時に保護者を対象とした「2万人体力測定」を開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステム在宅医療・介護連携事業開始（H30年度～の実施に向けて）</li> <li>・糖尿病重症化予防講座（全5回）を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大口町データヘルス計画（保健事業実施計画）策定（平成28年3月）</li> <li>・保健師1名育休（4月～3月）</li> <li>・保健師2名産休（11月～1月・1月～3月）</li> <li>・歯科衛生士（臨職）1名採用</li> </ul>

区分 年度	保 健 衛 生 行 政		法・その他
	母 子 保 健	成 人 保 健	
27		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者対象のポールウォーキング講座を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業 2地区で実施(いきいき100歳体操)</li> <li>・健康マイレージ事業開始に向けた検討部会実施</li> <li>・第8期健康推進員開始</li> </ul>
28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦対象の母親教室の再開。</li> <li>・7・8か月児を対象とした子育てサロンを新規開催。</li> <li>・歯科健診の対象を2歳児と2歳6か月児に変更</li> </ul> <p>&lt;予防接種&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児のB型肝炎ワクチンのA類定期予防接種が開始される(10月～)</li> <li>・高齢者のB類定期予防接種が愛知県広域予防接種に追加された(4月～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病予防講座(実践編全2回)実施</li> <li>・国保の糖尿病重症化予防モデル事業を、戸籍保険課と共同で受ける</li> <li>・40歳未満の女性を対象とした運動教室を実施。その後、自主グループ化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師2名採用</li> <li>・保健師1名退職(H29.2.28)</li> <li>・保健師2名育休(4月～3月)</li> <li>・歯科衛生士(臨職)1名退職(3月)</li> <li>・健康マイレージ事業開始(8月～)</li> <li>・在宅医療・介護連携事業について、尾北医師会サポートセンターの支援を受ける</li> <li>・大口町業務継続計画(新型インフルエンザ等編)策定(3月)</li> <li>・介護予防事業を地域包括支援センターに委託</li> </ul>
29		<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気づくりサポーター養成講座」実施</li> <li>・骨密度測定の検査方法を超音波検査からエックス線検査に変更。</li> <li>・糖尿病予防教室「血糖改善セミナー」実施(2回を2クール)。</li> <li>・女性のための運動教室「スタイルアップ教室」実施(全3回)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師2名育休(4月～3月)</li> <li>・保健師(臨職)1名退職</li> <li>・第9期健康推進員開始</li> <li>・地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等一部を改正する法律(平成29年6月2日公布)</li> <li>・第7期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画策定(平成30年3月)</li> <li>・第2期データヘルス計画及び第3期特定健康診査等実施計画策定(平成30年3月)</li> <li>・第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画策定(平成30年3月)</li> </ul>

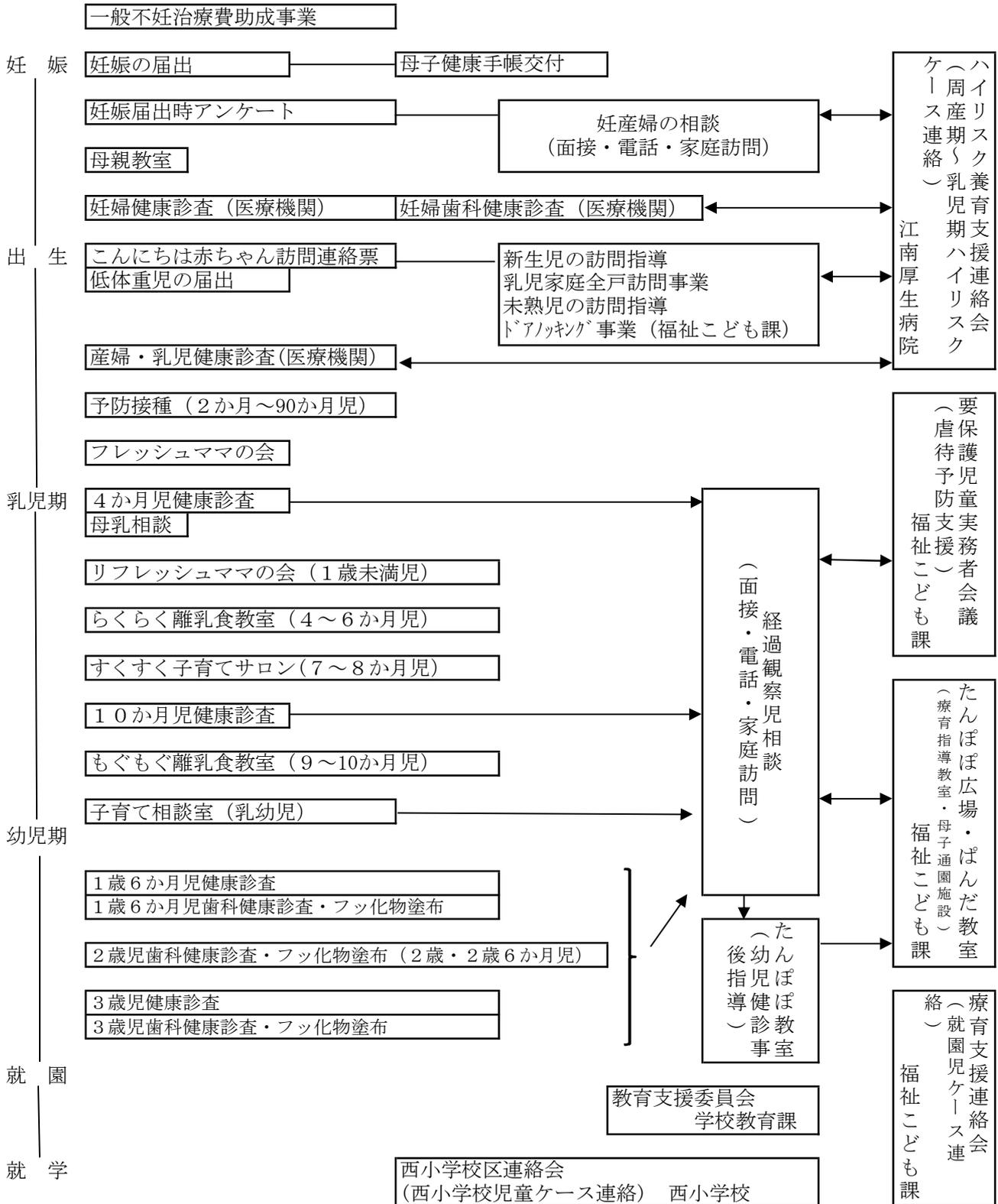
※平成元年～15年までは「平成21年度保健活動のまとめ」に記載。

## 2 母子保健活動

# 1 母子保健事業の取り組み

母子保健事業では、妊娠・出産・育児を通して母性や父性が育まれ、乳幼児が愛されかつ心身ともに健やかに育つことを目指し、子どもの発達や親の育児力に合わせた保健指導を行った。支援が必要なケースについては、医療機関や母子通園施設、福祉こども課等関係機関と連携して就学前まで継続的な子育て支援を行った。

## 母子保健 管理体系



## 2 一般不妊治療費助成事業

不妊症と診断され人工授精の治療を受けた夫婦を対象に、治療に要した自己負担額の1/2相当額を1年度あたり45,000円を限度に助成した。

### (1) 助成状況

年度	助成実組数 (新規申請数再掲)	うち母子健康手帳の 交付を受けた者の数
H27	9(5)組	2人
H28	15(13)組	6人
H29	8(8)組	2人

## 3 母子健康手帳の交付

妊娠の届出により母子健康手帳を交付し、妊婦が妊娠中を心身ともに健康に過ごし無事に出産を迎えることができるよう妊娠中及び産後の生活について保健指導を実施した。

(1) 日時 説明会：毎月第1・3木曜日 午前10時～11時30分  
随時

(2) 内容 母子健康手帳の交付 保健指導（母子健康手帳の使い方・妊娠中の生活）  
DVD視聴（「赤ちゃんのこころを育む親と子のふれあい」） 座談会  
\*随時の場合は手帳の交付と保健指導のみ

(3) 従事者 保健師 歯科衛生士 管理栄養士

(4) 妊娠届出者の状況 (単位：人)

年度	妊娠届出数	妊娠週数				
		11週以内	12～19週	20～27週	28週以上	分娩後
H27	219	192 (87.7%)	24 (11.0%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)	1 (0.5%)
H28	240	222 (92.5%)	17 (7.1%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
H29	240	218 (90.8%)	20 (8.3%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)

※端数処理により合計100%にならない年があります。

(単位：人)

年度	年齢		初産婦	就業有	喫煙有	飲酒有
	20歳未満	40歳以上				
H27	5 (2.3%)	9 (4.1%)	110 (50.2%)	159 (72.6%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)
H28	1 (0.4%)	10 (4.2%)	103 (42.9%)	129 (53.8%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)
H29	5 (2.1%)	12 (5.0%)	98 (40.8%)	152 (63.3%)	3 (1.3%)	1 (0.4%)

## 4 妊産婦乳児健康診査

妊娠の正常な経過や安全な分娩、産褥期の健康管理及び乳児の発達を支援するため、定期的な受診ができるように14回分の妊婦健康診査、産婦健康診査及び1か月児健康診査に対し受診票を発行し健診費用を助成した。

受診票利用状況（平成29年4月～平成30年3月受診）

内容	受診者数 (人)	医師判定(人)		所見(人)		
		異常なし	異常あり	蛋白尿 (2+以上)	尿糖 (2+以上)	血算 (異常あり)
子宮頸がん	217 (8)	215	2			
第1回	232 (4)	206	26	2	3	0
第2回	230 (7)	221	9	1	6	
第3回	230 (6)	220	10	0	8	
第4回	245 (6)	235	10	1	5	
第5回	227 (6)	216	11	3	8	
第6回	226 (10)	216	10	0	8	
第7回	226 (10)	207	19	2	6	
第8回	241 (8)	192	49	3	8	40
第9回	215 (15)	205	10	3	7	
第10回	215 (18)	185	30	3	3	
第11回	181 (20)	176	5	3	8	
第12回	214 (19)	133	81	1	4	72
第13回	132 (21)	128	4	1	2	
第14回	76 (11)	74	2	1	1	
1～14回合計	3,107	2,829	278	24	77	112
産婦健康診査	243	232	11	0	0	
乳児健康診査	236	230	6			

( ) 内は県外受診の再掲

## 5 家庭訪問

乳児家庭全戸訪問事業においては、乳児家庭の孤立化を防ぐために助産師又は保健師が生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに親子の健康状態や養育環境を把握し保健指導を行った。また、若年や妊娠高血圧症等のハイリスク妊婦、発達や発育に問題のある乳幼児、育児不安や家庭環境に問題のある親子、乳幼児健診未受診者に対し、安心して出産、育児ができるよう家庭を訪問し支援した。

(1) 従事者 保健師 助産師

(2) 実施状況（平成29年4月～平成30年3月実施分）内、里帰り訪問 3件（単位：人）

	妊婦		産婦		新生児		低出生体重児		乳児		幼児	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
実施数	1	3	244	244	15	15	21	21	218	229	18	28
(再掲) 乳児家庭 全戸訪問事業					15		21		215			

● 過去3年間の低出生体重児の状況（単位：人）

年	出生数	低体重児出生数	率 (%)	1,300g～2,300g					
				1,300g 未満	1,300g ～ 1,499g	1,500g ～ 1,799g	1,800g ～ 1,999g	2,000g ～ 2,299g	2,300g ～ 2,499g
H26	241	27	11.2	1	1	2	1	5	17
H27	229	20	8.7	—	—	—	—	10	10
H28	233	22	9.4	—	—	1	1	8	12
愛知県H28 (名古屋市除く)	44,684	4,317	9.7	225	107	213	283	1,217	2,272

(愛知県衛生年報より)

## 6 母親教室

出産や育児に不安を抱える母親が、安心して楽しく育児ができるような支援が必要である。妊産婦に対して、妊娠・出産・育児についての正しい知識を普及するとともに、母親等の仲間づくりを支援することにより、出産や育児に対する不安を軽減することを目的に、休止していた母親教室を平成28年度より実施した。

- (1) 日 時 奇数月第2水曜日 午前9時30分～11時30分  
(2) 内 容 講義「出産育児に向けてのからだづくりと母乳哺育について」  
交流会（妊婦・すくすく子育てサロン参加者）  
個別相談

- (3) 従事者 助産師 保健師

- (4) 参加状況

年度	実施回数	参加者数（産婦再掲）
H28	5回	32（1）人
H29	6回	29人

## 7 すくすく子育てサロン

乳児の健康や保育に関する正しい知識を普及し、また、親子のふれあいの大切さを伝えることにより健全な子どもの育成を支援するとともに、母親同士の交流を図ることで乳児期の母親の孤立防止及び育児不安の軽減を図ることを目的に実施した。

- (1) 日 時 奇数月第2水曜日 午前10時～11時30分  
(2) 内 容 事故予防について（DVD視聴）  
離乳食の話（離乳食中期～完了期）  
親子ふれあい遊び  
交流会（すくすく子育てサロン参加者・母親教室参加者）

- (3) 従事者 管理栄養士 保育士 保健師

- (4) 参加状況

年度	実施回数	参加者数
H28	5回	32組
H29	6回	60組

## 8 フレッシュママの会

育児の悩みを抱えやすい産後間もない母親同士が悩みを共感し前向きに育児に取り組めるように、仲間づくりを目的として生後2、3か月児の母親を対象にフレッシュママの会を開催した。

- (1) 日 時 偶数月第4金曜日 午後1時30分～3時  
(2) 内 容 身体計測 座談会 ベビーマッサージ 集団指導（母親の食生活・保健事業の紹介・予防接種の受け方）

- (3) 従事者 助産師 保健師 管理栄養士

- (4) 参加状況

年度	実施回数	参加数（初産再掲）
H27	6回	64（41）組
H28	6回	71（50）組
H29	6回	79（48）組

## 9 子育て相談室

育児不安等の問題を抱える保護者が安心して育児に取り組めるよう発育相談、育児相談、栄養相談、発達相談を実施した。

- (1) 日 時 毎月第3月曜日 午前9時～11時30分 (心理相談員による発達相談は奇数月)  
助産師による母乳相談は毎月第4水曜日 午後1時30分～2時15分
- (2) 内 容 身体計測 育児相談 経過観察児相談 母乳相談
- (3) 従事者 保健師 看護師 管理栄養士 心理相談員 助産師
- (4) 相談者の状況 (単位：人)

年度	利用者総数		再掲					
			妊婦		乳児		幼児	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
H28	189	349	0	0	100	240	89	109
H29	232	410	0	0	158	294	74	116

<内訳>

(単位：人)

従事者	相談者総数<重複>		再掲					
			妊婦		乳児		幼児	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
保健師	66	107	0	0	35(21)	52(32)	31(20)	55(37)
栄養士	22	27	0	0	11(5)	13(5)	11(4)	14(5)
心理相談員	7	7					7(6)	7(6)
検尿	43	46	0	0			43(43)	46(46)
身体計測のみ	59	146			59	146		

※ ( ) 健診事後指導者数再掲

### \* 子育て相談日以外の母子保健に関する相談

従事者 (人)		保健師 (6)	管理栄養士 (2)	看護師 (1)
面接相談	被指導実人数 (人)	119	4	11
	被指導延人数 (人)	127	4	11
電話相談・被指導者数 (人)		292	1	28

## 10 リフレッシュママの会

平成26年度から母親同士で情報交換、仲間づくりができるよう乳児の親子を対象に交流会の場所を設定した。平成29年度から子育て相談室との同時開催で実施。

(H26～H28はフレッシュママの会と同時開催)

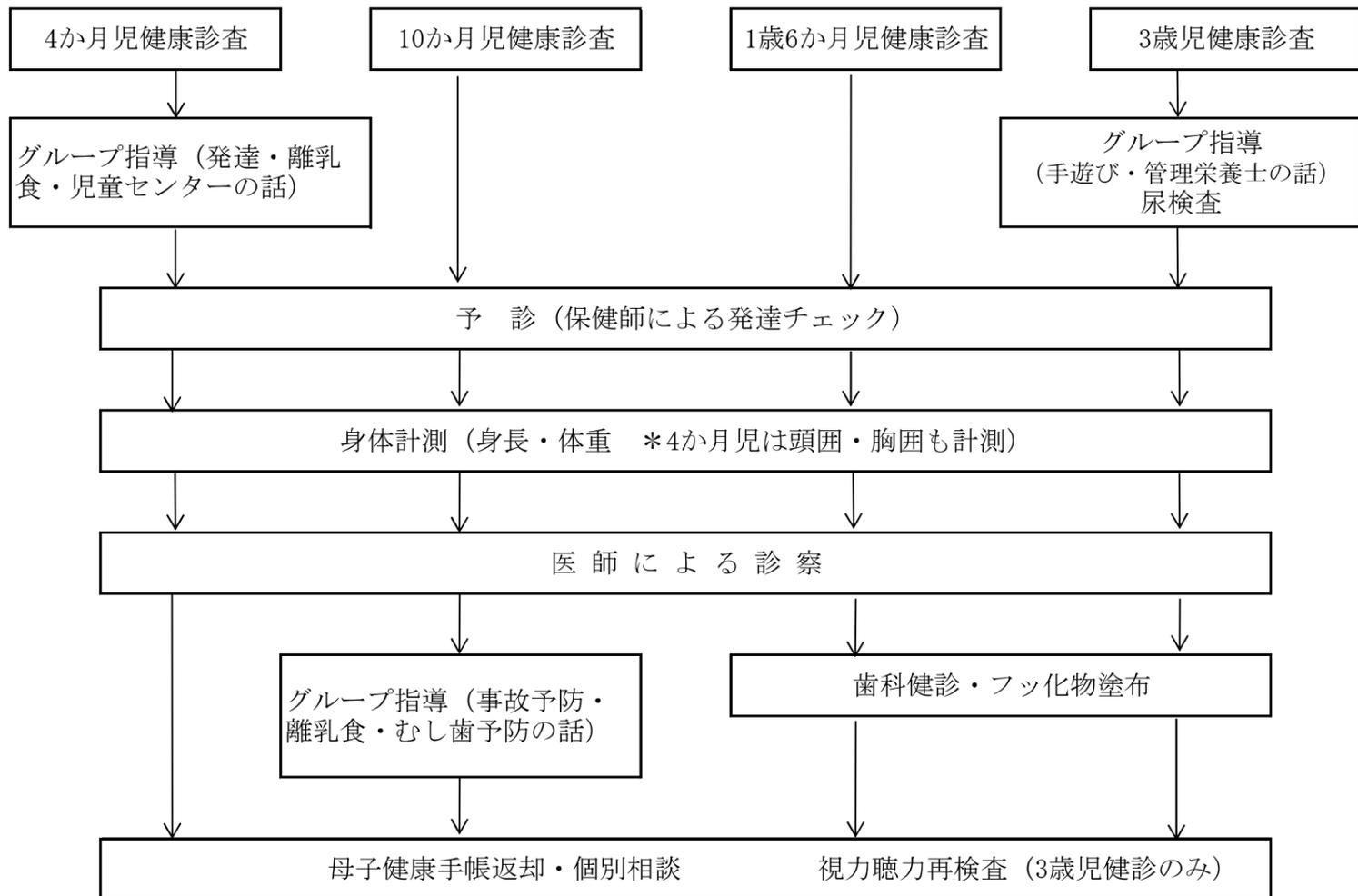
- (1) 日 時 毎月第3月曜日 午前9時～11時
- (2) 内 容 乳児の母親同士の情報交換、保健師によるふれあい遊び
- (3) 参加状況

年度	実施回数	参加者数
H29	12回	56組

# 1 1 乳幼児健康診査

乳幼児期の大切な節目である時期に、先天性異常や視聴覚、運動機能、精神発達等の異常を早期に発見し、適切な指導を行い心身障害の進行を未然に防止するとともにむし歯の予防、発育、栄養、生活習慣、その他の育児に関する指導を行い、乳幼児の健康の保持及び増進を図ることを目的として乳幼児健康診査を実施した。

## (1) 内容



## (2) 4か月児健康診査結果

(単位：人・%)

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	医師総合判定				
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
H28	12	238	241	101.3%	209 (86.7)	18 (7.5)	8 (3.3)	1 (0.4)	5 (2.1)
H29	12	261	257	98.5%	221 (85.9)	17 (6.6)	9 (3.5)	1 (0.4)	9 (4.0)
愛知県 (H28)		46,503	45,633	98.2%	81.2%	6.6%	7.4%	1.0%	3.7%

## 4か月児健康診査要因別支援判定

(単位：人・%)

年度	子の要因 (発達)				子の要因 (その他)				親・家庭の要因				親子の関係性			
	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携
H28	239 (99.2)	0 (0.0)	2 (0.8)	0 (0.0)	225 (93.4)	6 (2.5)	10 (4.1)	0 (0.0)	217 (90.0)	7 (2.9)	17 (7.1)	0 (0.0)	241 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
H29	249 (96.9)	1 (0.4)	7 (2.7)	0 (0)	236 (91.8)	2 (0.8)	18 (7.0)	1 (0.4)	226 (87.9)	3 (1.2)	28 (10.9)	0 (0)	253 (98.4)	1 (0.4)	3 (1.2)	0 (0)
愛知県 (H28)	91.7%	2.9%	5.1%	0.3%	78.6%	13.1%	7.2%	1.2%	83.0%	11.1%	5.7%	0.3%	98.9%	0.8%	0.3%	0.0%

(3) 10か月児健康診査結果

(単位：人・%)

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	医師総合判定				
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
H28	12	242	242	100.0%	199 (82.2)	17 (7.0)	25 (10.3)	1 (0.4)	0 (0.0)
H29	12	250	250	100.0%	207 (82.8)	12 (4.8)	28 (11.2)	2 (0.8)	1 (0.4)

10か月児健康診査要因別支援判定

(単位：人・%)

年度	子の要因（発達）				子の要因（その他）				親・家庭の要因				親子の関係性			
	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携
H28	228 (94.2)	3 (1.2)	11 (4.5)	0 (0.0)	219 (90.5)	11 (4.5)	12 (5.0)	0 (0.0)	208 (86.0)	20 (8.3)	14 (5.8)	0 (0.0)	241 (99.6)	0 (0.0)	1 (0.4)	0 (0.0)
H29	240 (96.0)	1 (0.4)	9 (3.6)	0 (0.0)	229 (91.6)	5 (2.0)	16 (6.4)	0 (0.0)	214 (85.6)	9 (3.6)	27 (10.8)	0 (0.0)	250 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

(4) 1歳6か月児健康診査結果

(単位：人・%)

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	医師総合判定				
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
H28	12	259	262	101.2%	220 (84.0)	19 (7.3)	23 (8.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
H29	12	261	260	99.6%	220 (84.6)	17 (6.5)	21 (8.1)	2 (0.8)	0 (0)
愛知県(H28)		47,767	46,799	98.0%	82.1%	5.3%	10.2%	0.6%	1.9%

1歳6か月児健康診査要因別支援判定

(単位：人・%)

年度	子の要因（発達）				子の要因（その他）				親・家庭の要因				親子の関係性			
	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携
H28	103 (39.3)	141 (53.8)	17 (6.5)	1 (0.4)	258 (98.5)	4 (1.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	224 (85.5)	21 (8.0)	16 (6.1)	1 (0.4)	262 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
H29	107 (41.2)	130 (50.0)	23 (8.8)	0 (0)	258 (99.2)	1 (0.4)	1 (0.4)	0 (0)	228 (87.7)	13 (5.0)	1 (0.4)	0 (0)	259 (99.6)	0 (0)	1 (0.4)	0 (0)
愛知県(H28)	51.2%	14.7%	32.9%	1.2%	83.3%	10.9%	4.0%	1.8%	81.7%	12.6%	5.5%	0.2%	97.8%	1.6%	0.5%	0.0%

(5) 3歳児健康診査結果

(単位：人・%)

年度	実施回数	対象者数	受診者数	受診率	医師総合判定				
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
H28	12	218	215	98.6%	181 (84.2)	7 (3.3)	2 (0.9)	0 (0.0)	25 (11.6)
H29	13	284	288	101.4%	231 (80.2)	13 (4.5)	8 (2.8)	0 (0.0)	36 (12.5)
愛知県(H28)		48,230	46,913	97.3%	74.5%	4.8%	10.0%	0.5%	10.2%

3歳児健康診査要因別支援判定

(単位：人・%)

年度	子の要因（発達）				子の要因（その他）				親・家庭の要因				親子の関係性			
	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携	支援不要	助言・情報提供	保健機関支援	他機関連携
H28	146 (68.0)	24 (11.2)	35 (16.3)	10 (4.7)	207 (96.3)	6 (2.8)	2 (0.9)	0 (0.0)	190 (88.3)	6 (2.8)	17 (7.9)	2 (0.9)	214 (100)	1 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
H29	212 (73.6)	23 (8.0)	43 (14.9)	10 (3.5)	286 (99.3)	2 (0.7)	0 (0.0)	0 (0)	260 (90.3)	5 (1.7)	22 (7.6)	1 (0.3)	287 (99.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)
愛知県(H28)	66.9%	15.7%	13.9%	3.5%	68.5%	15.2%	12.5%	3.7%	85.0%	10.6%	4.0%	0.4%	97.2%	2.1%	0.6%	0.1%

※ (1) ~ (5) ( )内は小数点第二位を四捨五入した値

## 1 2 離乳食教室

### (1) 目的及び対象者等

	らくらく離乳食教室（前期）	もぐもぐ教室（後期）
目的	離乳食の開始から7か月頃の意義について正しく理解し、一生のうちで離乳食期が食習慣の形成に大切な時期であることを認識する。	咀嚼の促しの必要性や歯の萌出に合わせた離乳食の形態を理解し作ることができる。また、離乳食だけではなく、家族の食事としての充実を図る。
対象者	生後5～7か月児とその保護者	生後8～11か月児とその保護者
日時	奇数月第3水曜日（年6回） 午前10時～11時30分	偶数月第3水曜日（年6回） 午前9時30分～11時30分
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>離乳食の開始から7か月頃の講話</li> <li>離乳食のデモンストレーションとその試食</li> <li>個別相談（希望者）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9か月頃以降の進め方についての講話</li> <li>調理実習（親の食事からの取り分け食）</li> <li>試食と個別相談（希望者）</li> </ul>
従事者	管理栄養士 保健師	
場所	健康文化センター1階 栄養実習室・栄養指導室	

### (2) 参加状況

(ア) らくらく離乳食教室の参加内訳 1回あたり10.5人の参加

参加人数	5か月未満児	5・6か月児	7か月以上児	個別相談者	第1子	第2子～
63人	13人	50人	0人	21人	46人	17人

(イ) もぐもぐ教室の参加内訳 1回あたり8.7人の参加

参加人数	9か月未満児	9・10か月児	11か月以上児	個別相談者	第1子	第2子～
52人	6人	40人	6人	36人	42人	10人

らくらく離乳食教室では、離乳食の基本的な進め方や調理方法についての質問の他、離乳食を与えたときの子どもの反応や食べ方に不安を感じて相談する人が多い。また、児が上手く食べられているかの確認をしてほしいといった声がある。食事内容だけでなく、試食中は離乳食を与える際の抱き方やスプーンの与え方などの指導が多い。児の将来の食生活のために保護者の食生活についても併せて知らせる必要がある。

もぐもぐ教室では、丸飲みの傾向にあることを心配する保護者が多い。また、離乳食の形状が順調に進んでいない、アレルギーの不安からたんぱく質の進みが遅いといった傾向にある。個別相談では、離乳食の食べさせ方、上手に食べられているかの確認が多く、食形態のすすめ方や生活リズム、ベビーフードの利用、水分補給についての質問など多岐にわたる。調理実習や試食を体験することで、食材の切り方や我が子の咀嚼力に驚きを示す保護者が多く、家庭の離乳食と比較しながら、今後のすすめ方に見通しが持てたといった前向きな感想が多い。

## 1 3 たんぽぽ教室

1歳6か月児及び3歳児健康診査等で育児や発達について経過観察が必要となった親子を対象に、経過観察とともに親子遊びを通して子どもの発達を促し、また、親が子どもの対応を学び子育ての困難さや不安を軽減できるよう支援することを目的として教室を開催した。教室を終了した親子には、必要に応じ継続して療育指導を受けられるよう母子通園施設やたんぽぽ広場の参加を勧奨した。

- (1) 日 時 毎月第2・4木曜日 午前9時45分～正午  
(スタッフカンファレンスは午前9時15分～9時45分、午後1時～3時)
- (2) 参加回数 1クール6回 (必要に応じ2クールまで継続参加)
- (3) 従事者 保健師 保育士 心理相談員 (第2木曜日) 言語聴覚士 (第4木曜日)  
家庭児童相談員 (年12回) 母子通園施設保育士 (年4回)

(4) 内 容

時 間	内 容
9:45～10:00	出席シール貼り
10:00～11:00	自由遊び、あいさつ、体操 ふれあい遊び、手遊び、絵本よみきかせ 設定遊び(新聞、粘土、風呂敷、お絵描き、サーキット、制作)
11:00～11:30	母子分離(1クール2回実施。母親:心理相談員か言語聴覚士による グループ話し合い、子ども:自由遊び)
11:30～正午	個別相談(3回目・6回目)

(5) 実施状況 (単位:人)

年度	回数	参加人数	
		実人数	延人数
H27	24	38	169
H28	24	45	216
H29	24	33	112

(6) 参加者年齢内訳

H26年4月～H27年3月生まれの子(次年度就園対象年齢) 22人  
H27年4月～H28年3月生まれの子 11人

(7) 教室終了後の状況

- ◎ 母子通園施設を紹介 10人 (内参加希望なし1人)
- ◎ たんぽぽ広場を紹介 13人 (内参加希望なし1人)
- ◎ 次年度継続参加を案内 6人
- ◎ 終了 4人 (内中断2人、就園2人、転出0人)

## 1 4 子育て支援・他機関との連携

### (1) 赤ちゃん抱っこ体験（中学生子育て体験）

大口町次世代育成支援後期行動計画の「次世代の親を育むための教育」として、中学生が乳幼児とのふれあいを通じて自分を大切にする気持ちや命の尊さ、人を思いやる心を養うことを目的として開催された。（主催：福祉こども課）

#### ア 日時・場所

（打ち合わせ）平成29年7月28日（金）午後4時～午後4時40分 場所：健康文化センター会議室  
平成29年8月7日（月） 北児童センターにて実施予定であったが、台風のため中止。

#### イ 従事者

児童センター厚生員 保健師 中学校養護教諭 子育てネットワークカー

### (2) 療育支援連絡会

乳幼児期の療育支援のあり方についての検討会や要支援ケースの情報交換を目的として開催された。（主催：福祉こども課）

#### ア 日時

平成29年5月18日（木） 8月3日（木） 11月2日（木） 平成30年2月1日（木）  
午後3時～5時15分

#### イ 出席者

保育長 保育園（南・北・西・大口中） 母子通園 児童センター（南・北・西）  
幼稚園（ラ・モーナ 大口） 家庭児童相談員 保健師

### (3) 西小学校区連絡会

大口町の子どもたちを取り巻く様々な現状や課題について情報交換及び検討することを目的として開催された。（主催：西小学校）

#### ア 日時

<支援部会>平成29年5月16日（火）午後4時～5時15分 6月9日（金）午後2時～4時30分  
平成29年11月14日（火）午後3時～4時15分

<支援部会・健康部会>平成30年2月6日（火）午後4時～5時15分

#### イ 出席者

西小学校 大口中学校 幼稚園（ラ・モーナ、大口） 保育園（北・西）  
西児童センター 保育長 地域包括支援センター 保健師

### (4) 要保護児童実務者会議

児童虐待に関する情報交換及び要保護児童等の実態把握、支援体制の検討を目的として開催された。（主催：福祉こども課）

#### ア 日時

毎月第1木曜日 午後1時30分～3時

#### イ 出席者

一宮児童相談センター（児童福祉司） 尾張福祉相談センター（家庭児童相談員）  
江南保健所（保健師） 福祉こども課 学校教育課 健康生きがい課（保健師）

(5) ハイリスク養育支援連絡会

江南厚生病院こども医療センター、NICU・GCU病棟、産婦人科を含む女性病棟、小児科及び産婦人科外来と、保健所、市町保健センターが連携を図り、ハイリスク児またはハイリスクの可能性のある児の家庭における育児支援体制を円滑にするための情報交換をすることを目的として開催された。(主催：江南厚生病院)

ア 日時

平成29年6月6日(火) 9月6日(火) 12月5日(火) 平成30年3月6日(火)  
午後4時～5時

イ 出席者

江南厚生病院(こども医療センター 産婦人科病棟 NICU・GCU 小児科外来  
産婦人科外来 患者相談支援センター)

江南保健所

保健センター(岩倉市 江南市 犬山市 扶桑町 大口町)

(6) ドアノッキング事業

子育てに悩み家にひきこもりがちになってしまう乳幼児期の子育て家庭に対し、地域ぐるみで家庭を見守り子育てを支援することで虐待を防止することを目的に、子育て情報のお知らせ等を行うドアノッキング訪問が実施された。(主催：福祉こども課)

ア 訪問時期

イ 従事者

主任児童委員

民生委員・児童委員

(7) たんぽぽ広場

たんぽぽ教室を終了した親子が就園するまで継続して地域で療育支援を受けられるよう西児童センターにおいて親子遊びの教室が開催された。(主催：福祉こども課)

(8) 保育園児に向けた食育の取り組み

箸の使い方に関心を持って正しい持ち方や使い方ができること、また、食事中の姿勢やマナーを知ることが目的とし、保育園栄養士と連携を図り、食育を実施した。(主催：保育園)

ア 対象

町内保育園年中児

イ 従事者

管理栄養士(保育園・健康生きがい課)、各園保育士

ウ 日時及び場所等

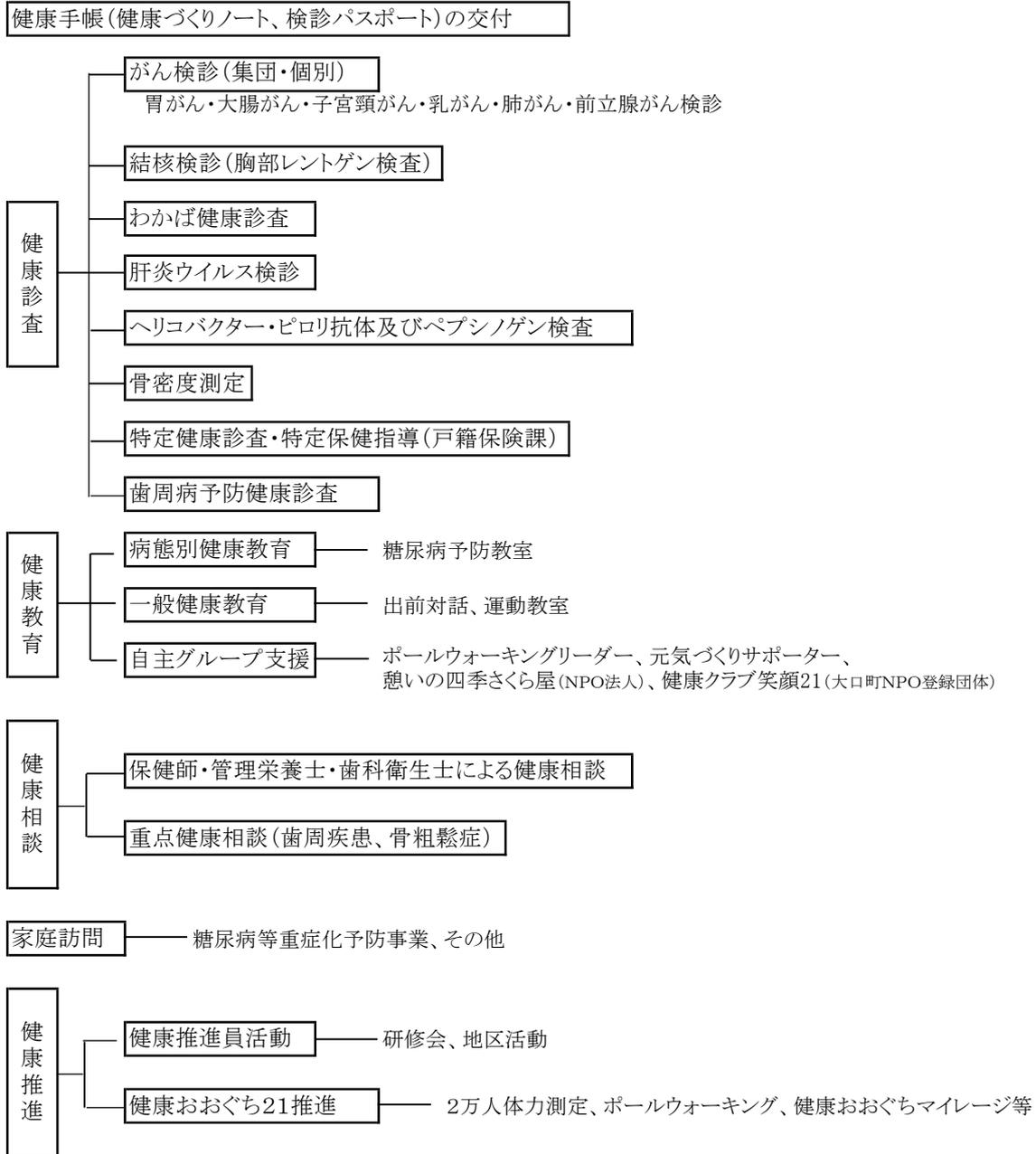
日時	場所	実施人数	実施栄養士所属
平成30年3月12日(月) 13:30～14:30	中保育園	25人	保育園
平成30年3月15日(木) 11:00～13:00	西保育園 (2クラス)	16+18人	健康生きがい課 保育園
平成30年3月16日(金) 11:00～13:00	南保育園	26人	健康生きがい課
平成30年3月16日(金) 11:00～13:00	北保育園	29人	保育園

### 3 成人保健活動

# 1 成人保健事業の取り組み

すべての町民が、健康で生きがいのある自立した生活を全うできるよう、健康増進法に基づく保健事業を柱として取り組みを実施した。保健事業の対象は、成人期から高齢期に至るまでとし、医療機関や保健所、他部署等の関係機関と連携をとって、生活習慣病の早期発見、重症化予防とともに、「自分の健康は自分で守る」という積極的な健康行動への働きかけや動機づけに関する支援を行った。

## 成人保健管理体系



## 2 健康手帳の交付

### (1) 目的

がん検診や特定健康診査・保健指導等の記録、その他の健康の保持のために必要な事項を記載できる健康手帳を交付することにより、町民自らの健康管理と適切な医療行動を促す。

### (2) 内容

10年間の検診受診状況や体力測定実施状況が記録できる検診パスポートを集団がん検診等の検診受診者に配布した。また、10年間の検診結果や体力測定結果、既往歴、健康目標等が記録できる健康づくりノートを健康教育及び重症化予防事業の参加者や健康マイレージポイント達成者に配布し、記録の活用を促すことで自主的な健康づくりの実践を支援した。

### (3) 交付状況

#### ア 検診パスポート

(人)

交付数		年代別			(再掲)	
		40歳未満	40～74歳	75歳以上	新規交付	再交付
男性	143	15	106	22	122	21
女性	275	77	167	31	225	50
合計	418	92	273	53	347	71

#### イ 健康づくりノート

(人)

交付数		40歳未満	40～74歳	75歳以上	合計
男性	健康教育・健康相談参加者	0	0	0	19
	重症化予防事業対象者	0	0	0	
	特定保健指導対象者	0	0	0	
	健康推進員	0	12	1	
	健康マイレージ達成者	1	5	0	
女性	健康教育・健康相談参加者	2	1	0	58
	重症化予防事業対象者	0	0	0	
	特定保健指導対象者	0	0	0	
	健康推進員	2	41	1	
	健康マイレージ達成者	3	8	0	
合計		8	67	2	77

### 3 特定健康診査・特定保健指導

#### (1) 目的

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、保険者は40歳以上の被保険者および被扶養者に対し、メタボリックシンドロームに着目した健康診査・保健指導を行うことにより、生活習慣病のリスク要因の減少を図り、糖尿病等、生活習慣病の有病者、予備群を減少させる。

#### (2) 特定健康診査の対象者

大口町国民健康保険被保険者および被扶養者(40歳～74歳)

#### (3) 特定健康診査の実施期間及び実施場所

人間ドック 5月～8月 人間ドック委託医療機関

個別健診 7月～10月 大口町・扶桑町の委託医療機関

集団健診 平成30年1月21日(日) 大口町保健センター

\*健康診査の実施主体は戸籍保険課

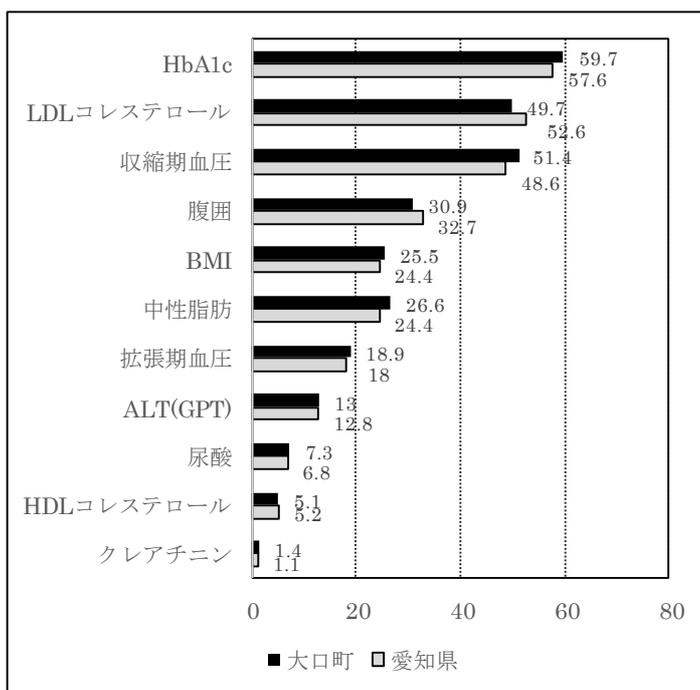
#### (4) 平成29年度特定健診受診者数

(H30.3.31現在 H29.8月までの途中加入者および資格喪失による除外者を含む)

受診券発行者数	3,647人
特定健康診査受診者数	1,572人

特定健康診査受診率 <b>43.1%</b>
---------------------------

#### (5) 平成29年度特定健診受診者の有所見者状況と割合



※備考(有所見者)

HbA1c : 5.6%以上

収縮期血圧 : 130mmHg以上

LDLコレステロール : 120mg/dℓ以上

腹囲 : 男性 85cm以上

女性 90cm以上

中性脂肪 : 150mg/dℓ以上

BMI : 25以上

拡張期血圧 : 85mmHg以上

ALT (GPT) : 31IU/ℓ以上

尿酸 : 7.0mg/dℓ以上

HDLコレステロール : 40mg/dℓ未満

クレアチニン : 1.3mg/dℓ以上

平成29年度国保データベース有所見者状況より

(6) 特定保健指導対象者の選定

特定健康診査結果から、内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因の数に着目し、リスクの高さや年齢に応じ、動機付け支援・積極的支援のレベル別に対象者を選定します。

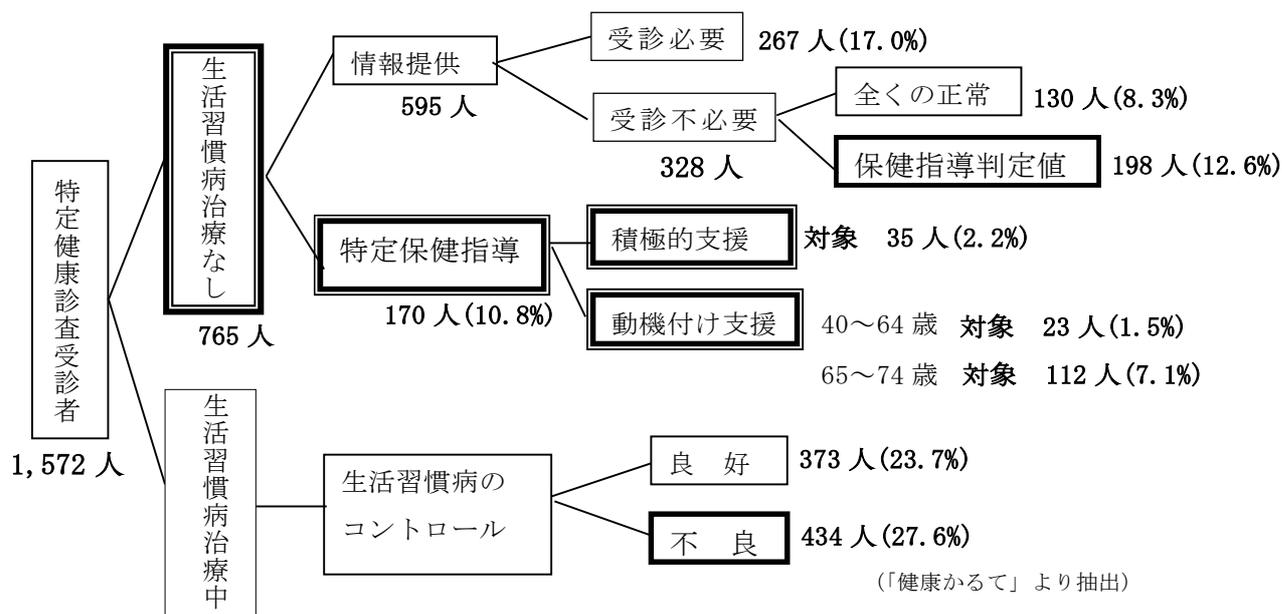
内臓脂肪の蓄積	(1) 腹囲 男性 85 cm以上 女性 90 cm以上  (2) ☆ 腹囲 男性 85 cm未満 女性 90 cm未満 かつ <u>BMI 25以上</u>	追加リスク	
		①血糖	☆空腹時血糖値 100mg/dℓ以上 または <u>HbA1c (NGSP値) 5.6%以上</u>
		②脂質	中性脂肪 150mg/dℓ以上 または HDLコレステロール 40mg/dℓ未満
		③血圧	収縮期血圧 130mmHg 以上 または 拡張期血圧 85mmHg 以上
		④質問票	☆喫煙歴あり

指導レベルのグループ分け

追加リスクの数	(1) の場合 (腹囲)	(2) の場合 (BMI)
3つ以上	積極的支援レベル	積極的支援レベル
2つ		動機付け支援レベル
1つ	動機付け支援レベル	
0	情報提供レベル	情報提供レベル

- (注) 1 喫煙歴については、①～③のリスクが1つ以上の場合のみカウントする。  
 2 前期高齢者(65歳～74歳)は、積極的支援の対象となった場合でも動機付け支援とする。  
 3 服薬中の人は医療保険者による特定保健指導の対象としない。

特定保健指導階層化



(7) 特定保健指導 利用状況《29年度》(資格喪失による除外者を含む H30.3 現在)

特定保健指導利用人数

	対象者	利用者	利用率
動機づけ 40～64歳	23人	4人	17.4%
動機づけ 65歳以上	112人	24人	21.4%
積極的	35人	5人	14.3%
全体	170人	33人	19.4%

利用者 男女比

男性	女性
23人	10人
69.7%	30.3%

保健指導利用率

19.4%

平成29年度 特定保健指導 実施状況

	初回支援 集団または個別	継続支援 個別	運動支援(※1) 個別支援	継続支援 個別	中間評価 (積極的支援のみ)	継続支援 電話	6ヶ月評価 集団または個別
1クール	H29年9月実施 個別 5人	H29年10月	【開催日】 H29.10/18 12/19 H30.2/16 2/20 3/22  【参加者数】 計19名  ②個別(ライフコーダ支援) 進化型歩数計(ライフコーダ) による身体活動の支援 【参加者】16名	H29年11月	H29年12月	H30年2月	H30年3月
2クール	H29年11月実施 個別 4人	H29年12月		H30年1月	H30年2月 該当なし	H30年4月	H30年5月
3クール	H29年1月実施 集団 5人 個別 8人	H30年2月		H30年3月	H30年4月	H30年6月 実施予定	H30年7月 実施予定
4クール	H29年2月実施 集団 4人 個別 4人	H30年3月		H30年4月	H30年5月 実施予定	H30年7月 実施予定	H30年8月 実施予定

※1 運動支援：H28年度より、参加者の身体状況に合わせたより個別性の高い支援を行うため、予約制の個別支援を実施した。

\* 江南厚生病院へ特定保健指導委託：7月～3月(国民健康保険人間ドック実施者のみ)  
H29年度利用者人数 2人/10人中(利用率20.0%)

(8) 平成27年度 特定健診・特定保健指導 法定報告

資料：平成28年度 市町村国保特定健診・保健指導実施状況概況報告書

(単位：%)

	全国	愛知県	大口町
特定健康診査 受診率	36.6	36.9	48.9
特定保健指導 終了率	26.3	16.1	20.6
(積極的支援) 終了率	16.7	12.3	14.3
(動機付け支援) 終了率	29.4	17.5	22.3
内臓脂肪症候群該当者の減少率	21.2	21.2	24.8
内臓脂肪症候群該当者	17.4	18.4	17.5
内臓脂肪症候群予備群	10.6	10.4	10.0
高血圧服薬治療中	34.4	33.9	35.5
脂質異常症服薬治療中	24.4	25.7	27.7
糖尿病服薬治療中	7.6	8.3	9.3

(9) 平成 28 年度特定保健指導実施者の状況と支援の内訳

《終了者の状況》

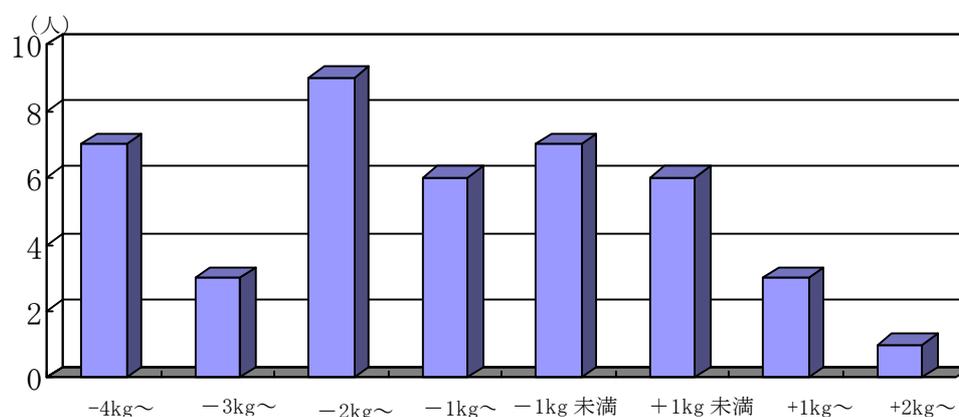
		対象者	参加者	参加率	終了者	対参加者 終了率	対対象者 終了率
積極的支援		44 人	8 人	18.1%	6 人	75.0%	13.6%
動機づけ支援	40～64 歳	31 人	8 人	25.8%	8 人	100.0%	25.8%
	65～74 歳	137 人	30 人	21.9%	28 人	93.3%	20.4%
	合計	212 人	46 人	21.7%	42 人	91.3%	19.8%

(10) 平成 27 年度特定保健指導利用者の変化

《体重、腹囲の変化》

	最大	最小	中央値
体重の変化	-8.2kg	+2.1kg	-1.75kg
腹囲の変化	-12.4 cm	+7.6 cm	-1.2cm

特定保健指導利用者の体重変化別人数



《生活習慣の変化》 評価対象者：積極的支援 6 名、動機づけ支援 36 名

		改善	変化なし	悪化
食生活	積極的支援	5 人	1 人	—
	動機づけ支援	25 人	11 人	—
身体活動	積極的支援	1 人	5 人	—
	動機づけ支援	25 人	10 人	1 人

(11) 糖尿病等生活習慣病重症化予防事業 《平成 29 年度》

特定健康診査の結果から、重症化するリスクの高い者に対し、保健指導および医療機関への受診勧奨を行うことにより、糖尿病や高血圧等の生活習慣病の重症化および合併症の発症を予防する。

また、大口町において有所見者が多く、医療費の上位を占めている糖尿病についての意識啓発と発症予防を図るため、「血糖改善セミナー（全 2 回コース）」を実施した。（健康講座の実施主体は健康生きがい課）

《受診勧奨と生活習慣改善支援》

- 対象者 ①血糖 : 糖尿病未治療で、HbA1c6.5%以上に該当する者  
糖尿病治療治療中で HbA1c7.0%以上に該当する者
- ②血圧 : 高血圧未治療者で、収縮期血圧 160mmHg 以上または拡張期血圧 100mmHg 以上に該当し、前年度または前々年度においても同様に血圧高値のもの
- ③腎機能:尿たんぱく(+)以上で、eGFR50 未満(70 歳以上は eGFR40 未満) に該当するもの

\*「未治療者」とは、特定健康診査問診票において服薬なしと回答した者

○実施状況 (対象者への連絡)

	対象者数	対象者への連絡			連絡方法(重複あり)			状況確認ができた人数
		なし	主治医に確認	あり	来所	訪問	電話	
HbA1c6.5~6.9% 服薬なし	46人	5人	1人	40人	3人	12人	23人	34人 (73.9%)
HbA1c7.0%~ 服薬なし	17人	1人	0人	16人	2人	6人	10人	13人 (76.5%)
HbA1c7.0%~ 服薬中	56人	0人	6人	50人	3人	14人	28人	42人 (75.0%)
高血圧	11人	3人	0人	8人	0人	3人	2人	5人 (45.5%)
腎機能 e-GFR	17人	0人	1人	16人	4人	6人	6人	16人 (94.1%)
合計	147人	9人	8人	130人	12人	41人	69人	110人 (74.8%)

重複 4 件あり

※訪問時、不在だった場合は、アンケートによる状況調査を行い、健診結果や病態、生活習慣に関するリーフレット等の資料を投函、啓発に努めた。

○状況確認ができた方の状況 (110名 重複回答あり)

		HbA1c 6.5 ~ 6.9	HbA1c 7.0 以上	HbA1c7.0 以上服薬 中	高血圧	e-GFR	計	
状況確認ができた人数		34人	13人	42人	5人	16人	110人	
受診勧奨	なし	医療機関管理中	24人	10人	42人	1人	12人	89人
		受診拒否	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		その他	0人	0人	0人	3人	1人	4人
	受診勧奨あり		1人	3人	0人	1人	3人	8人
	医師連絡票発行数		1人	3人	0人	1人	3人	8人
医師連絡票返信数		1人	3人	0人	0人	3人	7人	
生活習慣 改善支援	生活習慣改善支援希望数	10人	1人	3人	4人	1人	19人	
	生活習慣改善支援実施数	7人	1人	2人	0人	1人	11人	

## 4 がん検診

### (1) 目的

がんを早期発見し、適切な治療につなげることによりがんの死亡率を減少させる。

### (2) 検診の内容

種類	検査項目	委託機関 (検診機関数・実施期間)	対象者	自己負担金
胃がん検診	胃部 X 線撮影	愛知県健康づくり振興事業団 (1 会場・午前 3 日間) 尾北医師会 (町内 6 医療機関)	20 歳以上	集団 1,000 円 個別 2,000 円
	胃部内視鏡検査	尾北医師会 (町内 5 医療機関)	40 歳以上	個別 2,000 円
大腸がん検診	便潜血反応	名古屋公衆医学研究所 尾北医師会 (町内 8 医療機関)	20 歳以上	集団 300 円 個別 500 円
子宮頸がん検診	視診、細胞診	愛知県健康づくり振興事業団 (1 会場・午後 4 日間) 尾北医師会 (町外 3 医療機関)	和暦奇数年 生まれの 20 歳以上	集団 800 円 個別 1,000 円
乳がん検診	乳房 X 線検査	愛知県健康づくり振興事業団 (1 会場・午前午後 4 日間) 町内 1、町外 3 医療機関	和暦奇数年 生まれの 35 歳以上	集団 1,000 円 個別 1,500 円
	乳房超音波検査	名古屋公衆医学研究所 (1 会場・午前 4 日間) 町内 3、町外 3 医療機関	20 歳以上	集団 700 円 個別 1,500 円
肺がん検診	胸部 X 線検査 (喀痰検査)	名古屋公衆医学研究所 (11 会場・5 日間) 尾北医師会 (町内 8 医療機関)	20 歳以上 (50 歳以上で喫煙 指数 600 以上)	集団 200 円 個別 500 円 (集団 300 円、個別 1000 円)
前立腺がん検診	P S A 検査	愛知県健康づくり振興事業団 (1 会場・午後 2 日間)	50 歳以上	集団 300 円

### (3) 無料クーポン券事業対象者

対 象 者	検診の種類							
	男性 (人)	女性 (人)	胃 が ん	大 腸 が ん	子 宮 頸 が ん	乳 が ん	肺 が ん	前 立 腺 が ん
20 歳 平成 8 年 4 月 2 日～平成 9 年 4 月 1 日生		141			女性			
40 歳 昭和 51 年 4 月 2 日～昭和 52 年 4 月 1 日生	175	174	●	●	女性	女性	●	
45 歳 昭和 46 年 4 月 2 日～昭和 47 年 4 月 1 日生	223	214	●	●	女性	女性	●	
50 歳 昭和 41 年 4 月 2 日～昭和 42 年 4 月 1 日生	163	133	●	●	女性	女性	●	男性
55 歳 昭和 36 年 4 月 2 日～昭和 37 年 4 月 1 日生	121	116	●	●	女性	女性	●	男性
60 歳 昭和 31 年 4 月 2 日～昭和 32 年 4 月 1 日生	103	93	●	●	女性	女性	●	男性

\*人間ドック受診者は無料クーポン券事業の対象外とした。ただし 40 歳女性は人間ドック受診者 1 人を含む。

(4) がん検診実施状況

\*がん検診の対象者については、健康増進事業対象年齢の者とし、平成28年度までは推計対象者、平成29年度は4月20日時点の全住民を計上した。

ア 胃がん検診 (X線検査) \* ( ) は40歳未満を含む (人)

年度	健康増進事業対象者数	受診者数			受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果		
		集団	医療機関							異常なし	がん	その他の疾患
27	5,421	312 (345)	194 (222)	118 (123)	5.8	20 (21)	6.4 (6.1)	16 (17)	80.0 (81.0)	0 (1)	0 (0)	16 (16)
28	5,421	277 (320)	157 (186)	120 (134)	5.1	20 (22)	7.2 (6.9)	16 (17)	80.0 (77.3)	0 (1)	1 (1)	15 (15)
29	12,784	272 (302)	165 (193)	107 (109)	2.1	18 (19)	6.6 (6.3)	12 (13)	66.7 (68.4)	2 (3)	0 (0)	10 (10)

イ 胃がん検診 (内視鏡検査) \* ( ) は50歳未満を含む (人)

年度	健康増進事業対象者数	受診者数			受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果		
		集団	医療機関							異常なし	がん	その他の疾患
27	5,421	565	/	565	10.4	2	0.4	2	100	0	1	1
28	4,893	441 (561)	/	441 (561)	9.0	179 (215)	40.6 (38.3)	179 (215)	100 (100)	0 (0)	1 (1)	178 (214)
29	8,985	464 (586)	/	464 (586)	5.2	197 (246)	42.5 (42.0)	197 (246)	100 (100)	5 (5)	2 (3)	190 (238)

\*H28年度から健康増進事業対象 (対象年齢50歳以上) となる

\*H27年度対象者は40歳以上の数

ウ 大腸がん検診 \* ( ) は40歳未満を含む (人)

年度	健康増進事業対象者数	受診者数			受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果		
		集団	医療機関							異常なし	がん	その他の疾患
27	5,421	1,219 (1,281)	439 (489)	780 (792)	22.5	100 (104)	8.2 (8.1)	89 (91)	89.0 (87.5)	27 (28)	3 (3)	59 (60)
28	5,421	1,116 (1,184)	366 (417)	750 (767)	20.6	87 (89)	7.8 (7.5)	72 (73)	82.8 (82.0)	25 (25)	0 (0)	47 (48)
29	12,784	1,189 (1,250)	425 (481)	764 (769)	9.3	91 (95)	7.7 (7.6)	73 (74)	80.2 (77.9)	26 (27)	3 (3)	44 (44)

エ 子宮頸がん検診

\* ( ) は妊婦健診による子宮がん検診受診者再掲 (人)

年度	健康増進事業対象者数	受診者数		受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果					
		集団	医療機関						異常なし	上皮内病変	子宮頸がん	子宮体がん	その他のがん	その他の疾患
27	4,469	664 (212)	227 (212)	14.9	7 (4)	1.2 (1.9)	5 (1)	62.5 (50.0)	4 (1)	0	0	0	0	1
28	4,469	651 (220)	178 (220)	14.6	11 (6)	1.69 (2.73)	6 (1)	54.5 (25.0)	4 (1)	0	0	0	0	2
29	9,311	665 (213)	229 (213)	7.1	20 (6)	3.0 (2.8)	13 (1)	65.0 (16.7)	5 (0)	1	0	2	0	5

\*健康増進事業対象者及び受診者数は20歳以上。ただし、妊婦健診による子宮がん検診は20歳未満を含む。(H26:3人、H27:3人、H28:1人、H29:3人)

オ 乳がん検診 (視触診+マンモグラフィ検査) \* ( ) は40歳未満を含む (人)

年度	健康増進事業対象者数	受診者数		受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果		
		集団	医療機関						異常なし	がん	その他の疾患
27	3,453	420 (455)	212 (236)	12.2	35 (40)	8.3 (8.8)	32 (36)	91.4 (90.0)	22 (25)	0 (0)	10 (11)
28	3,453	449 (491)	181 (211)	13.0	48 (50)	10.7 (10.2)	40 (42)	83.3 (84.0)	25 (25)	0 (0)	15 (17)
29	6,614	393 (435)	205 (235)	5.9	30 (31)	7.6 (7.1)	26 (27)	86.7 (87.1)	15 (16)	1 (1)	10 (10)

\*29年度の集団検診はマンモグラフィ検査のみ

カ 乳がん検診 (視触診+エコー検査) \* ( ) は40歳未満を含む (人)

年度	対象者数	受診者数		受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果		
		集団	医療機関						異常なし	がん	その他の疾患
27	/	188 (254)	59 (101)	/	14 (20)	7.4 (7.9)	10 (15)	71.4 (75.0)	4 (8)	0 (0)	6 (7)
28	/	162 (248)	41 (88)	/	11 (15)	6.8 (6.0)	11 (15)	100 (100)	5 (8)	0 (0)	6 (7)
29	/	248 (322)	73 (115)	/	19 (22)	7.7 (6.8)	13 (15)	68.4 (68.2)	3 (4)	0 (0)	10 (11)

\*健康増進事業対象外

キ 肺がん検診（胸部X線検査）

\*（ ）は40歳未満を含む

（人）

年度	健康増進事業対象者数	受診者数		受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果			
		集団	医療機関						異常なし	がん	その他の疾患	診断保留
27	5,421	1,312 (1,323)	535 (788)	24.2	9 (9)	0.69 (0.68)	9 (9)	100 (100)	3 (3)	0 (0)	3 (3)	3 (3)
28	5,421	1,213 (1,230)	439 (791)	22.4	9 (9)	0.74 (0.73)	8 (8)	88.9 (88.9)	5 (5)	0 (0)	2 (2)	1 (1)
29	12,784	1,268 (1,292)	455 (819)	9.9	19 (19)	1.50 (1.47)	17 (17)	89.5 (89.5)	9 (9)	1 (1)	5 (5)	2 (2)

\*要精検者は胸部X線E判定（肺がんの疑い）の数

\*平成27年度受診者のうちD判定で精密検査の結果肺がんが発見された者1人は計上せず

ク 肺がん検診（かくたん検査）

（人）

年度	健康増進事業対象者数	受診者数		受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果			
		集団	医療機関						異常なし	がん	その他の疾患	診断保留
27	182	36	10	19.8	0	/	/	/	/	/	/	/
28	177	31	9	17.5	0	/	/	/	/	/	/	/
29	185	27	6	14.6	1	3.7	1	100	1	0	0	0

平成29年度 胸部X線写真読影D判定内訳

（人）

年齢	受診者数	検査判定区分				D判定者の精検結果					未受診・未把握
		D1	D2	D3	D4	異常なし	結核	がん	その他の疾患	診断保留	
40歳未満	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
40～44歳	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
45～49歳	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
50～54歳	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
55～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69歳	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
70歳以上	18	0	7	0	11	6	1	1	5	1	4
合計	23	0	7	0	16	8	1	1	6	1	6

【胸部X線検査判定区分】

- A：読影不能    B：異常なし    C：異常を認めるが精査を必要としない  
 D1：治療を要する結核を疑う    D2：肺炎、気胸など治療を要する状態を疑う  
 D3：心大血管異常で治療を要する状態を疑う    D4：縦隔腫瘍、胸壁腫瘍、胸膜腫瘍など治療を要する状態を疑う  
 E：肺がんの疑い

ケ 前立腺がん検診

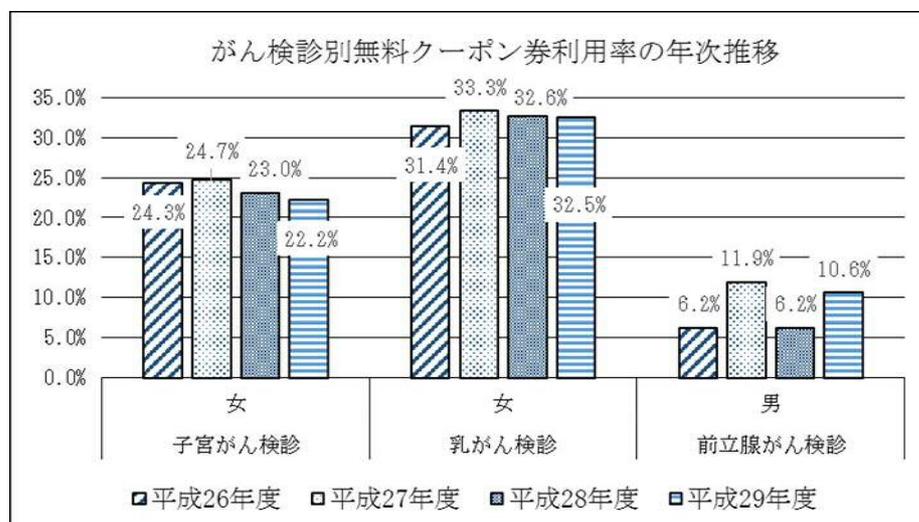
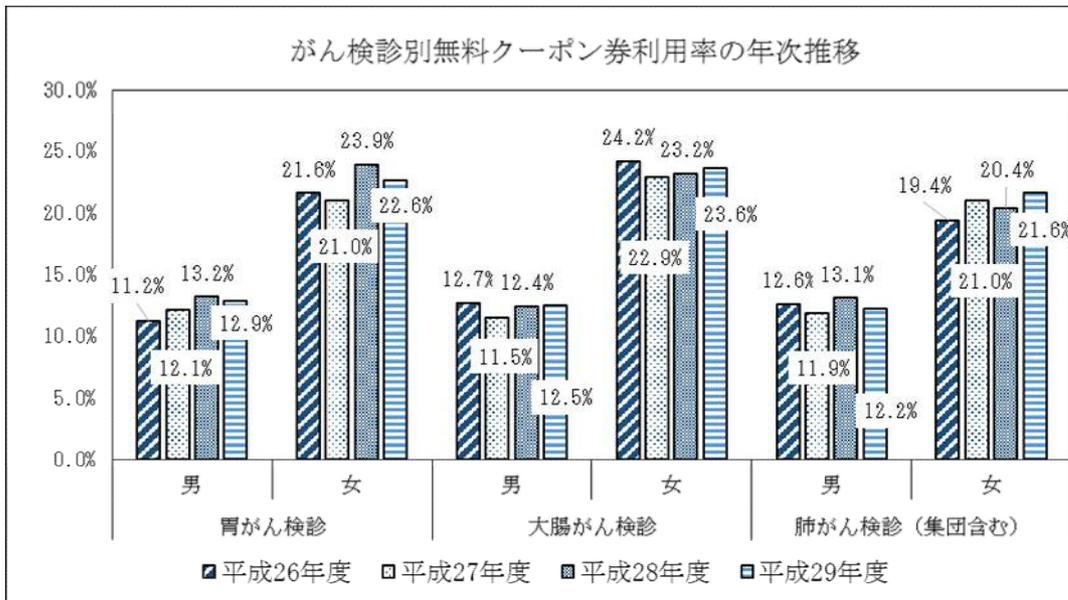
(人)

年度	対象者数	受診者数	受診率 %	要精検者数	要精検率 %	精検受診者数	精検受診率 %	精検結果		
								異常なし	がん	その他の疾患
27	1,855	182	9.8	12	6.6	10	83.3	3	1	6
28	1,855	148	8.0	9	6.1	6	66.7	1	3	2
29	8,985	163	1.8	6	3.7	4	66.7	3	0	1

\*健康増進事業対象外

コ 無料クーポン券事業

一定の年齢の者にクーポン券を送付して受診を勧奨することで、検診受診の動機付けを行いがん検診の受診を促進し、がんの早期発見につなげ、がんによる死亡者の減少を図ることを目的として実施した。



## 5 わかば健康診査

### (1) 目的

すこやかで豊かな生涯を送るために、健康診査により生活習慣病を早期発見するとともに、若い年代から自分の健康状態を知ること与生活習慣を見直す動機づけを図る。

### (2) 対象者

20・30歳代のうち会社・学校等で健康診査を受ける機会のない者（定員100人）

### (3) 実施日

平成30年1月21日（日） 午前9時～11時30分

### (4) 内容

身体計測（腹囲・身長・体重・BMI）、尿検査（尿糖・尿蛋白）、血圧測定、血液検査（脂質検査・貧血検査・肝機能検査・糖代謝検査・腎機能検査）、医師診察

### (5) 受診状況

(人)

年度末年齢		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	合計
男性	初回	2	1	2	3	8
	非初回	0	1	0	2	3
女性	初回	0	2	14	6	22
	非初回	0	3	9	24	36
*初回は過去3年間（26, 27, 28年度）に受診歴のない者、非初回は過去3年間（26, 27, 28年度）に受診歴のある者を計上。						69

### (6) 健診結果

#### ① 検査項目別結果

(人)

		A 異常なし	Bほぼ異常なし	C 経過観察	D 要再検査	E 要精密検査	F 要治療	G要継続治療
男	総合判定	1(9.1%)	1(9.1%)	3(27.3%)	0	1(9.1%)	5(45.4%)	0
	血圧	9	2	0	0	0	0	0
	脂質	6	0	3	0	0	2	0
	肝機能	4	2	1	0	1	3	0
	貧血	10	0	1	0	0	0	0
	糖代謝	4	7	0	0	0	0	0
	腎機能	11	0	0	0	0	0	0
	尿酸	9	0	2	0	0	0	0
女	総合判定	12(20.7%)	16(27.6%)	10(17.2%)	6(10.4%)	8(13.8%)	5(8.6%)	1(1.7%)
	血圧	56	0	2	0	0	0	0
	脂質	34	9	4	0	6	4	1
	肝機能	55	2	0	0	0	1	0
	貧血	46	0	4	6	2	0	0
	糖代謝	32	24	2	0	0	0	0
	腎機能	48	6	4	0	0	0	0
	尿酸	58	0	0	0	0	0	0

#### ② メタボリックシンドローム診断結果

(人)

	非該当	予備群	基準該当	判定不能
男	9(81.8%)	1	1	0
女	54(93.1%)	2	0	2

## 6 肝炎ウイルス検診

### (1) 目的

肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、肝炎ウイルス検診の受診促進を図り、もって町民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導等を受け医療機関で受診することにより、肝炎による健康障害の回避、症状の軽減または進行の遅延を図る。

### (2) 対象者

- ・平成 29 年度において満 40 歳となる者
- ・平成 29 年度に満 41 歳以上となる者であって、過去に当該肝炎ウイルス検診に相当する検診を受けたことがなく本検診の受診を希望する者

### (3) 実施場所

大口町・扶桑町の委託医療機関

### (4) 実施期間

平成 29 年 7 月 1 日～10 月 31 日（ただし、大口町の胃がん検診（胃内視鏡検査）を受ける場合は大口町内の医療機関に限りがん検診実施期間中も可能。）

### (5) 内容

問診、B 型肝炎ウイルス検査、C 型肝炎ウイルス検査

### (6) 実施状況

(人)

区分 \ 項目	受診者	HBs 抗原検査		C 型肝炎ウイルス検査	
		陰性	陽性	現在 C 型肝炎ウイルスに感染していない可能性が極めて高い	現在 C 型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い
40 歳	23	23	0	23	0
その他の年齢	116	116	0	115	1
計	139	139	0	138	1

\*40 歳はがん検診無料クーポン券事業対象者 40 歳及び年度末年齢 40 歳（1 人）を計上

\*C 型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い者 1 人は HCV 抗体検査高力価の判定

#### ① フォローアップ事業

検診後の陽性者に対して電話による受診勧奨を行った。

#### ② フォローアップ事業の結果

検査実施医療機関の紹介で専門医療機関を受診し治療中。（対象者から聞き取り）

## 7 ヘリコバクター・ピロリ抗体及びペプシノゲン検査

### (1) 目的

ヘリコバクター・ピロリ感染の有無とペプシノゲン判定による胃粘膜の萎縮度を調べ、胃がんや胃潰瘍、慢性萎縮性胃炎などの胃疾患に罹るリスクを分類することで、必要な検査や治療につなげ胃がんの予防を図る。

### (2) 対象

40 歳以上の者

\*ただし、下記に該当するものは除く。

- ・勤務先等で検査を受ける機会のある者
- ・過去に大口町が実施する同検査を受けたことがある者
- ・ピロリ菌除菌治療を受けたことがある者
- ・食道・胃・十二指腸に関する疾患で治療中または手術歴のある者
- ・明らかな上部消化器症状があり胃や十二指腸の疾患が強く疑われる者
- ・プロトンポンプ阻害薬を服用中もしくは2か月以内に服用した者
- ・腎不全及び腎機能障害の者

### (3) 実施場所

大口町内委託医療機関

### (4) 実施期間

平成 29 年 7 月 1 日～10 月 31 日

### (5) 内容

問診、血清ペプシノゲン検査、血清ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

### (6) 受診者数

(人)

受診者数	A群	B群	C1群	C2群
43	30	9	3	1

A 群：健康な胃粘膜で、胃疾患の危険度は低い。

B 群：消化性潰瘍など胃疾患の危険がある。(胃がんが発生することもある。)

C1群：胃がん、胃ポリープなど胃疾患の高危険群。

C2群：胃がん、胃ポリープなど胃疾患の、より高危険群。

## 8 骨密度測定（骨粗しょう症健診）

### （1）目的

骨粗鬆症は寝たきりの要因となる骨折の基礎疾患となるため、早期に骨量減少者を発見し骨粗鬆症を予防する。

### （2）対象者

20歳以上の者

### （3）実施日

7月21日（金）・10月27日（金）、午前9時15分～11時・午後1時15分～3時

### （4）内容

- ・前腕部エックス線検査による骨密度測定
  - ・委託検査機関（半田市医師会健康管理センター）検査技師による結果説明
  - ・委託検査機関（半田市医師会健康管理センター）医師による個別指導
- \* 要精検者及び希望者を対象として個別指導を行った。

### （5）受診状況

（人）

判定	30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		合計		
	受診数	指導数	受診数	指導数	受診数	指導数	受診数	指導数	受診数	指導数	受診数	指導数	
男性	異常なし	1	0	1	0	1	0	5	0	12	2	20	2
	要指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要精検	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2
女性	異常なし	11	0	22	1	31	0	19	0	10	1	93	2
	要指導	0	0	0	0	4	4	19	13	18	12	41	29
	要精検	0	0	0	0	1	1	22	22	25	25	48	48
合計	12	0	23	1	37	5	65	35	67	42	204	83	

## 9 健康教育

生活習慣病の予防その他の健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進を図ることを目的として健康教育を実施した。

### (1) 病態別健康教育

#### ア 糖尿病予防教室「血糖改善セミナー」

##### ① 目的

血糖値の改善または悪化の防止を図るため、参加者が糖尿病予防のための適切な生活習慣を身につけ、自主的に継続して健康管理ができるように実施した。

##### ② 周知方法

広報（1月号）に掲載、並びに平成29年度特定健康診査の結果でHbA1c値が5.6%～6.4%に該当し治療をしていない者に個別通知をし、参加者を募集した。

糖尿病等重症化予防事業対象者（HbA1c値が6.5%以上に該当し糖尿病未治療の者）の保健指導時（家庭訪問、電話による）に案内した。

##### ③ 実施場所

保健センター プレイルーム

##### ④ 実施状況

実施回数：4回（2回／クール×2クール）

日程	内容	従事者	参加人数（人）		
			* 下段はHbA1c6.5%以上の者を再掲		
			40～64歳	65～74歳	75歳以上
第1回 1月30日（火） 2月14日（水） 午前9時30分～ 11時30分	高血糖を防ぐ食生活改善 ・講義（病態・合併症、食生活の 6つのポイント） ・グループワーク	管理栄養士・保健師 （健康生きがい課）	6 * 0	33 * 5	1 * 0
第2回 1月17日（水） 2月27日（火） 午前9時30分～ 3時30分	高血糖を防ぐ運動習慣づくり ・講義 ・階段を使った身体活動の体験	健康運動指導士（東海学 園大学スポーツ健康科学 部准教授） 保健師（健康生きがい課）	5 * 0	29 * 5	2 * 2
合計（ ）は実人数			11 (6)	62 (35)	3 (3)

##### ⑤ まとめ

教室には、個別通知対象672人のうちの34人、並びに重症化予防事業対象者の5人と広報等による申込み者5人（治療中3人、血糖値不明2人）を合わせた44人が参加した。

教室終了後は、筋力トレーニングと食事指導を行い生活習慣の改善及び習慣化を支援した。筋力トレーニングに参加した者のうち3～4人が、自主的に保健センターに集まり週1回の運動を継続し、血糖改善のための健康管理に取り組んでいる。

<教室終了後の支援状況>

	筋力トレーニング教室	食事指導
従事者	保健師(健康生きがい課)	管理栄養士(健康生きがい課)
回数	9回(週2回×1か月)	個別指導5日間、調理実習1回
被指導者数	11人(延45人)	個別指導7人、調理実習8人

(2) 一般健康教育

ア 女性のための運動教室「スタイルアップ教室」

① 目的

健康増進のための運動に関する知識を普及し、体を動かすことを通して運動する機会が少なくなっている女性が運動に関心を持ち、習慣的に運動する動機付けのために実施した。

② 対象者

20～40歳代の女性

③ 周知方法

広報(10月号)に掲載し参加者を募集した。

④ 実施場所

保健センター プレイルーム

⑤ 実施状況

実施回数：1クール3回

日程	内容	従事者	参加者人数
第1回 11月14日(火) 午前9時30分～ 11時30分	体力測定 筋力トレーニング ダンス	ダンス講師(ウィル大ロススポーツクラブ 派遣講師)  保健師(健康生きがい課)	15人 (託児8人) * 6人
第2回 11月21日(火) 午前10時～ 11時30分	筋力トレーニング ダンス エアロビクス	託児ボランティアグループ (こどもの森)	13人 (託児7人) * 5人
第3回 11月28日(火) 午前10時～ 11時30分	筋力トレーニング ダンス ヨガ		16人 (託児10人) * 6人
合計	( )は実人数、*下段は40歳代(健康増進事業対象)の人数		44(19)人 * 17(8)人

⑥ まとめ

教室実施前の体力測定結果は、3種目(柔軟性、上肢筋力、敏捷性)において参加者の6割が2以下(5段階評価)の評価だった。教室後に行ったアンケートでは、「毎日60分以上の身体活動がある」と回答した者は31.3%、「週2回以上の運動習慣がある者」は18.8%であった。若い女性の体力低下と運動不足に対し、今後も運動習慣定着の支援が必要である。

イ 衛生教育（依頼による健康教育等）

実施日時	内 容（従事者）	対象者	依頼機関	参加者数
6月15日（木）	保健師さんの健康ワンポイントレッスン 「歯周病予防について」 （保健師）	親子ふれあい広 場に参加してい る母親	特定非営利活動法人 子どもと文化の森	9組
9月21日（木）	保健師さんの健康ワンポイントレッスン 「体力測定について」 （保健師）			6組
10月19日（木）	保健師さんの健康ワンポイントレッスン 「生活習慣病予防につい て」（保健師・看護師）			7組
9月7日（木）	元気体操の練習 （保健師、健康クラブ笑 顔21、太極拳）	南小学校全校児童	南小学校	339人
10月16日（月）	就学時健診における保護 者向け講演会 「美味しい食事は健康のもと、 たばこの害について」	小学校就学を控え た児童の保護者	北小学校	108人
10月20日（金）	「美味しい食事は健康のもと、 早寝早起き朝ごはん」 （管理栄養士、保健師）		西小学校	72人
5月14日（日）	講話「認知症予防につい て」（地域包括支援センター 社会福祉士、町保健師）	高齢者ふれあいの 会参加者	大屋敷老人クラブ	75人
7月4日（火）	調理実習「夏バテ予防と 低栄養予防の食事」 （管理栄養士）	老人クラブ女性部	老人クラブ	26人
7月14日（金）	調理実習「夏バテ予防と 低栄養予防の食事」 （管理栄養士）	健康クラブ笑顔21 メンバー	NPO 登録団体 健康クラブ笑顔21	19人
11月30日（木）	衛生研修会 「食中毒の話」 （管理栄養士）	コミュニティワー クセンター職員、 カフェきんもくせ い調理員	コ ミ ュ ニ テ イ ワー ク セ ン タ ー	15人
平成30年 1月19日（金）	講話「いつまでも健康に！ ～長生きのための秘訣～」 （管理栄養士、町保健師）	さつきヶ丘老人ク ラブ「ちとせ会」	さつきヶ丘老人 クラブ	48人
10月18日（水）	講話「認知症ってなあ に！教えて保健師さん」 （地域包括支援センター 社会福祉士、町保健師）	中地域自治組織役員 及び健康福祉部会委 員、余野・垣田・さ つきヶ丘老人クラブ 員及び区民	中地域自治組織 健康福祉部会	48人
平成30年 1月27日（土）	講話「認知症にならない ために」 （地域包括支援センター社会福 祉士、町保健師、健康推進員）	北地域自治組織 の住民	北地域自治組織 福祉部会	120人

## 10 健康相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理を支援することを目的として実施した。

### (1) 保健師・管理栄養士による健康相談

ア 歩く健康の集い（ウォーキング前の健康相談及び準備体操）

- ① 実施日 毎月第2・4火曜日 午前9時～9時30分
- ② 従事者 保健師
- ③ 実施状況 実施回数22回

被指導者数（血圧測定）

40～64歳	65～74歳	75～79歳	80歳以上	合計
1人 (延7)	9人 (延41)	7人 (延35)	4人 (延42)	実人数21人 延人数125人

### イ 健康相談

- ① 実施日 毎月第2・4金曜日 午前9時30分～11時30分
- ② 従事者 保健師
- ③ 被指導者数

40歳未満	40～64歳	65～74歳	75歳以上	合計
2人	1人	1人	0人	4人

### ウ 健康相談日以外の相談

従事者	保健師 (6人)	管理栄養士 (2人)
面接相談・被指導者数	17 (17) 人	16 (27) 人
電話相談・被指導者数	54人	25人

\*面接相談の（ ）は被指導者延人数

\*管理栄養士面接相談者数は糖尿病予防教室の事後指導分を除く

### (2) 重点健康相談

ア 歯周疾患相談

- ① 実施日 7月21日（金）、8月9日（水）、10月27日（金）、11月27日（月）
- ② 内容 ペリオスクリーンによる歯周病のスクリーニング、歯みがき指導
- ③ 従事者 在宅歯科衛生士
- ④ 被指導者数 42人 \*うち健康増進事業対象者は22人  
(内訳は歯科保健活動「5 歯周病相談」に記載)

イ 骨粗鬆症相談

- ① 実施日 7月21日(金)、10月27日(金) 午前・午後
- ② 内容 骨密度測定結果に基づく保健指導
- ③ 従事者 検診実施機関の医師
- ④ 被指導者数 83人 \*うち健康増進事業対象者は13人  
(内訳は成人保健活動「8 骨密度測定」に記載)

## 1 1 家庭訪問

療養上の保健指導が必要であると認められる者及びその家族に対して、保健師等が訪問して、対象者の家庭の健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図ることを目的として実施した。

(1) 従事者

保健師 管理栄養士

(2) 実施状況

① 被指導者数

( )延人数

区分	生活習慣病等 要指導者	介護・介護予 防等高齢者	精神保健福祉	その他	合計
保健師	1(3)人	0人	1(3)人	0人	2(6)人
管理栄養士	1(2)人	0人	0人	0人	1(2)人

\*生活習慣病等要指導者は重症化予防事業被指導者を除く

② 糖尿病等重症化予防事業

糖尿病や高血圧等の生活習慣病の重症化及び合併症の発症を予防するため、国民健康保険の特定健康診査の結果から、重症化するリスクの高い者を選定し、訪問指導を実施した。

ア 従事者

戸籍保険課 保健師

健康生きがい課 保健師 管理栄養士

イ 実施状況 (内訳は成人保健活動「3 特定健康診査・特定保健指導」に記載)

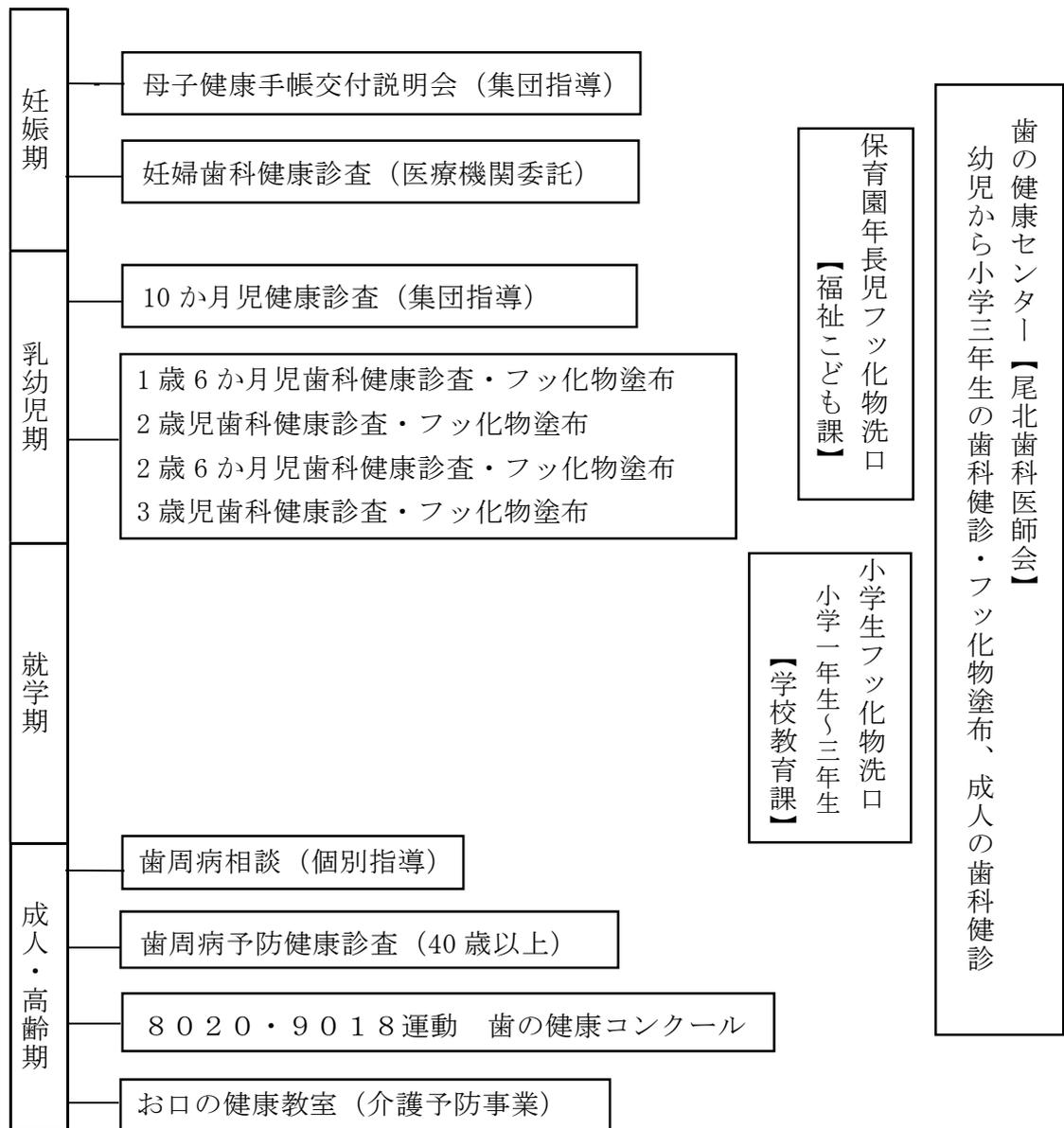
対象者数 147人 (うち健康増進事業対象者 25人)  
被指導実人数 45人 (うち " 6人)  
被指導延人数 48人 (うち " 6人)  
不在件数 4人

## 4 齒科保健活動

# 1 歯科保健事業の取り組み

健康おおぐち 21 第二次計画の歯の健康目標である「いつまでも自分の歯でおいしく食べよう」「いつまでも明るく歯を見せて笑おう」「口腔機能を維持しよう」の達成に向けて、妊娠期から高齢期までのライフステージに合わせた歯と口腔の健康づくり事業に取り組んだ。

## 歯科保健 管理体系



## 2 幼児歯科健康診査

生涯を通して歯・口腔の健康を保つため、成人の歯・口腔の基盤をかたちづくる時期である幼児期のう蝕を予防することを目的として、1歳6か月児、2歳児、2歳6か月児、3歳児を対象に歯科健康診査及びフッ化物塗布を実施した。フッ化物塗布時には歯科衛生士によるう蝕予防に関する知識、情報の提供等個別指導を行った。

### (1) 1歳6か月児歯科健康診査

年度	対象者数	受診者数	受診結果(人)					う蝕有病者数 (人)	う蝕有病率 (%)	う歯本数(本)		フッ化物塗布実施(人)	歯列・咬合異常有(人)	軟組織異常有(人)	その他の異常有(人)
			01	02	A	B	C			総本数	1人あたり本数				
H27	230	224	93	129	2	0	0	2	0.89	5	0.02	215	25	24	6
H28	259	261	106	154	1	0	0	1	0.38	2	0.01	255	34	37	0
H29	261	260	109	149	2	0	0	2	0.77	7	0.03	250	40	42	0

### (2) 2歳児・2歳6か月児歯科健康診査

#### 【2歳児】

年度	対象者数	受診者数	受診結果(人)					う蝕有病者数 (人)	う蝕有病率 (%)	う歯本数(本)		フッ化物塗布実施(人)	歯列・咬合異常有(人)	軟組織異常有(人)	歯の形態・歯数異常有(人)	その他の異常有(人)
			01	02	A	B	C			総本数	1人あたり本数					
H28	260	238	81	153	3	1	0	4	1.68%	15	0.06	225	42	31	7	0
H29	257	246	67	176	2	1	0	3	1.22%	13	0.05	223	37	33	10	0

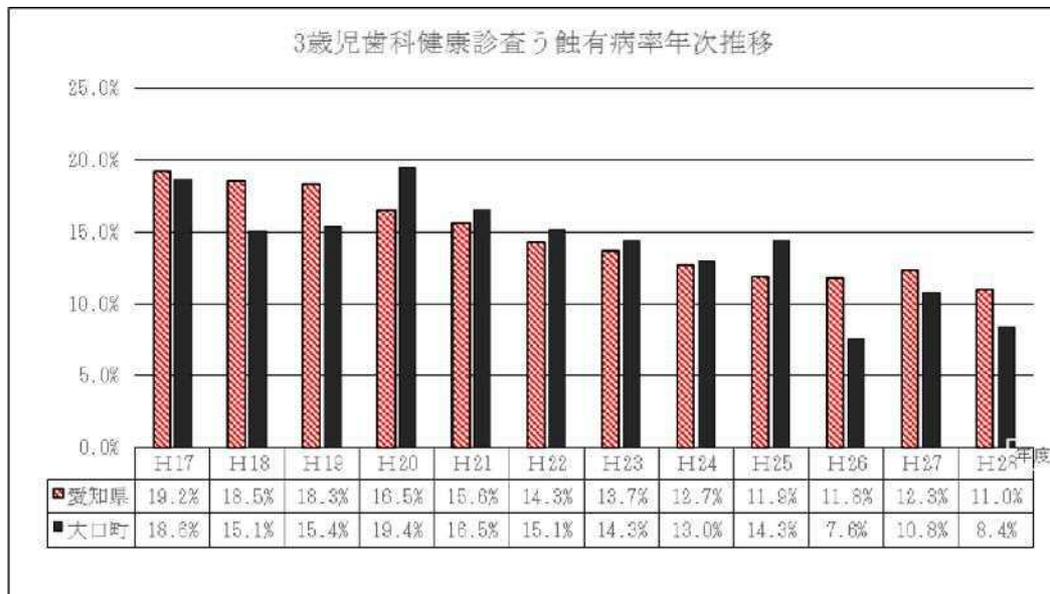
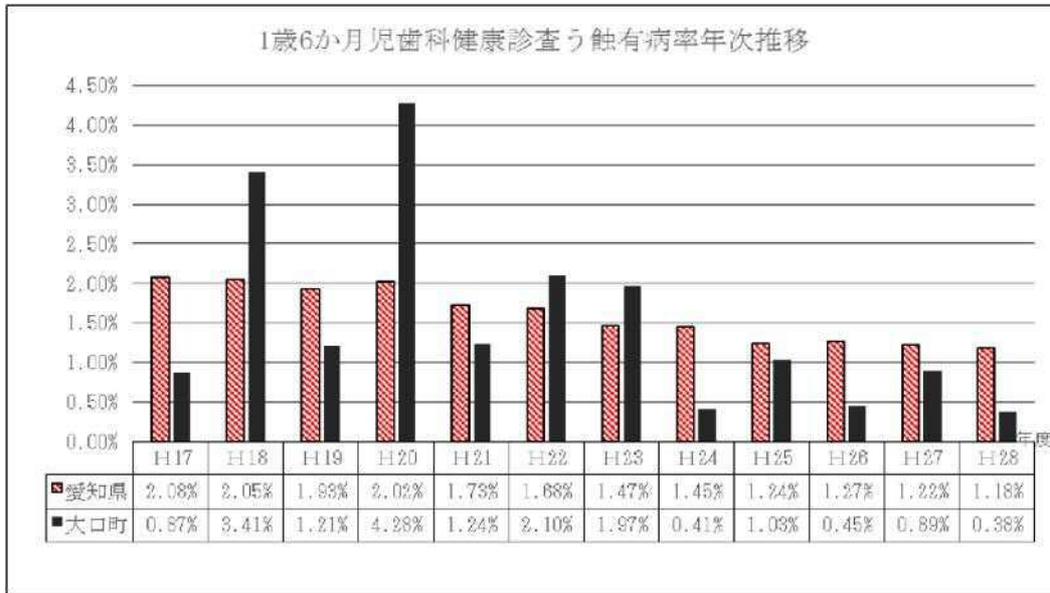
\*H28年度より2歳3か月児歯科健康診査は対象を拡大し2歳児及び2歳6か月児歯科健康診査として実施

#### 【2歳6か月児】

年度	対象者数	受診者数	受診結果(人)					う蝕有病者数 (人)	う蝕有病率 (%)	う歯本数(本)		フッ化物塗布実施(人)	歯列・咬合異常有(人)	軟組織異常有(人)	歯の形態・歯数異常有(人)	その他の異常有(人)
			01	02	A	B	C			総本数	1人あたり本数					
H28	136	84	32	51	0	1	0	1	1.19%	6	0.07	79	22	13	2	0
H29	262	168	53	111	4	0	0	4	2.38%	5	0.03	151	34	11	5	0

### (3) 3歳児歯科健康診査

年度	対象者数	受診者数	受診結果(人)					う蝕有病者数 (人)	う蝕有病率 (%)	う歯本数(本)		フッ化物塗布実施(人)	歯列・咬合異常有(人)	軟組織異常有(人)	歯の形態・歯数異常有(人)	その他の異常有(人)
			01	A	B	C1	C2			総本数	1人あたり本数					
H27	241	232	207	15	7	0	3	25	10.78%	106	0.46	218	35	19	14	4
H28	218	215	198	12	5	1	0	18	8.37%	61	0.28	195	39	14	8	0
H29	284	288	267	16	4	0	1	21	7.29%	59	0.20	265	49	23	13	0



(4) まとめ

1歳6か月児及び3歳児歯科健康診査におけるう蝕有病率は、県よりも低くまた、町、県ともに減少している。今後も幼児歯科健康診査及びフッ化物塗布を継続し、保護者に対し幼児期のう蝕予防のための適切な指導を行う必要がある。

### 3 妊婦歯科健康診査

#### (1) 目的

歯周病に罹患しやすい妊娠中に歯科健康診査を実施することにより、妊婦の歯及び口腔の疾患を予防するとともに、生まれてくる子どもの口腔衛生の向上を図る。

#### (2) 実施内容

母子健康手帳の交付を受けた妊婦に対し、受診票を発行し妊婦歯科健診費用 1 回分を全額助成した。

＜健診内容＞歯周病予防健康診査、健診結果説明、口腔衛生指導

#### (3) 実施場所

尾北歯科医師会大口地区の歯科医療機関（10 か所）

#### (4) 実施状況

##### ① 健診結果

区分 年度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	平均 現在歯数 (本)	平均 健全歯数 (本)	平均 処置歯数 (本)	平均 未処置歯数 (本)	歯周疾患 判定者数 (人)
27	219	85	28.5	19.2	8.0	1.3	18
28	240	88	28.2	19.4	7.6	1.2	20
29	240	90	28.6	19.6	0.8	8.2	

\*27, 28 年度歯周疾患判定者は歯周コード 3 以上の者

##### ＜総合判定＞

年度	異常なし	要指導	要精検
27	12	18	55
28	14	16	58
29	11	32	47

##### ＜C P I 判定＞ 29 年度分

歯肉出血 あり	歯周ポケット	
	浅いポケット 4 mm～5 mm	深いポケット 6 mm以上
62 人 (68.9%)	25 人 (27.8%)	7 人 (7.8%)

\*29 年度は「歯周病検診マニュアル 2015」総合判定及び CPI 判定基準による判定結果(新判定基準)

##### ＜問診結果＞ 29 年度分

喫煙		8020 運動	喫煙と歯周病 の関係	過去 1 年間の 健診	歯間ブラシの 使用
なし	過去にあり	知っている	知っている	受診	使っていない
77 人 (85.6%)	13 人 (14.4%)	51 人 (56.7%)	41 人 (45.6%)	51 人 (56.7%)	52 人 (57.8%)

#### (5) まとめ

受診率は 37.5% で、受診者の 6 割が 30 歳代だった。また、受診者の 35.6% に歯周ポケットが認められた。今後も妊婦歯科健診をきっかけとして、歯周病が増加し始める 30 代への適切な口腔ケア指導と定期的な歯科健診の受診勧奨が必要である。

## 4 歯周病予防健康診査

### (1) 目的

40歳以上の町民に歯周病予防健康診査を実施することにより、歯周病の早期発見、早期治療を促し、歯の喪失予防や口腔機能の維持向上のための口腔衛生の向上を図る。

### (2) 実施内容

40歳以上の町民に対し、歯周病予防健診費用1回分を全額助成した。

<健診内容> 歯周病予防健康診査、健診結果説明、口腔衛生指導

### (3) 実施場所及び実施期間

尾北歯科医師会大口地区の歯科医療機関（10か所）

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

### (4) 実施状況

#### ① 性別・年代別受診者数

\*（ ）は健康増進事業対象受診者数を再掲

性別	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
男性	14(6)人	12(6)人	15(7)人	16(8)人	3人	60(27)人
女性	26(15)人	28(11)人	23(10)人	30(8)人	0人	107(44)人

#### ② 健診結果

区分 年度	受診者数 (人)	平均 現在歯数 (本)	平均 健全歯数 (本)	平均 処置歯数 (本)	平均 未処置歯数 (本)	歯周疾患 判定者数 (人)
27	244	25.5	11.0	14.1	0.5	47
28	165	26.2	11.7	13.8	0.6	33
29	167	26.4	11.7	14.1	0.5	

\*27,28年度歯周疾患判定者は歯周コード3以上の者

#### <総合判定>

(人)

#### <CPI判定>

年度	異常なし	要指導	要精検
27	32	33	179
28	11	68	86
29	6	74	87

歯肉出血 あり	歯周ポケット	
	浅いポケット 4mm～5mm	深いポケット 6mm以上
125人 (74.9%)	46人 (27.5%)	10人 (6.0%)

\*29年度は「歯周病検診マニュアル2015」総合判定及びCPI判定基準による判定結果(新判定基準)

#### <問診結果>

喫煙		8020運動	喫煙と歯周病 の関係	過去1年間の 健診	歯間ブラシの 使用
あり	過去にあり	知っている	知っている	受診	使っていない
16人 (9.6%)	40人 (24.0%)	120人 (71.9%)	69人 (41.3%)	101人 (60.5%)	47人 (28.1%)

\*平成 29 年度より「歯周病検診マニュアル 2015」に沿った健診票を作成し歯周病予防健康診査を実施した。変更点は CPI 判定基準及び検診結果の判定区分で次のとおり。

CPI 判定基準の新旧対応

新判定基準(平成 27 年改正後)			旧判定基準(平成 12 年改正時)	
歯肉出血	0	健全	0	健全
	1	出血あり	1	出血あり
	9	除外歯	2	歯石あり
	X	該当する歯なし	3	4~5 mmに達するポケット
			4	6 mmを超えるポケット
歯周ポケット	0	健全		
	1	4~5 mmに達するポケット		
	2	6 mmを超えるポケット		
	9	除外歯		
	X	該当する歯なし		

検診結果の判定の新旧対応

	新判定(平成 27 年改正後)	旧判定(平成 12 年改正時)
異常なし	未処理歯・要補綴歯・その他の所見が認められず CPI 個人コードが歯肉出血 0、歯周ポケット 0 の者	未処理歯・要補綴歯・その他の所見が認められず CPI 個人コードが 0 の者
要指導	未処理歯・要補綴歯・その他の所見が認められず下記の項目に 1 つ以上該当する者	未処理歯・要補綴歯・その他の所見が認められず CPI 個人コードが 1 の者
	ア. CPI 個人コードが歯肉出血 1、歯周ポケット 0	
	イ. 口腔清掃状態が不良	
	ウ. 歯石の付着あり(軽度、中等度以上)	
	エ. 生活習慣や全身疾患、歯科医療機関等の受診状況等指導を要する	
要精密検査	以下の項目に 1 つ以上該当し、さらに詳しい検査や治療が必要な者	以下の項目に 1 つ以上該当し、さらに詳しい検査や治療が必要な者
	ア. CPI 個人コード=歯周ポケット 1 または 2	ア. CPI 個人コード=2
	イ. 未処置歯あり	イ. CPI 個人コード=3 または 4
	ウ. 要補綴歯あり	ウ. 未処置歯あり
	エ. 生活習慣や全身疾患等、さらに詳しい検査や治療を要する	エ. 要補綴歯あり
	オ. その他の所見あり(問診でさらに詳しい検査や治療が必要な場合)	オ. その他の所見あり(問診でさらに詳しい検査や治療が必要な訴えのある者を含む)

(5) まとめ

受診者は、52.1%が 60 歳以上であった。また、健康増進事業の歯周疾患検診対象者のうち、平成 29 年度歯周病予防健診未受診者(29 年 12 月時点)に対し勸奨通知を送付した結果、健康増進事業対象者の受診者数は平成 28 年度より増加したが、全体の受診者数は増加しなかった。

今後も、定期的な歯科健診の必要性を普及啓発するとともに、口腔機能の維持向上を目的とした歯科指導の実施が必要である。

## 5 歯周病相談

### (1) 目的

歯周病の罹患が急増する40歳以降の町民に対し、歯間部清掃用具の活用や定期的な歯科検診の受診等歯周病予防に関する適切な口腔管理について指導することにより、歯周病予防健診受診者の増加及び歯周病の有病者の減少を図る。

### (2) 実施内容

集団がん検診の待ち時間を利用し、歯科衛生士によるペリオスクリーン検査（唾液中潜血検査）、口腔衛生指導を実施した。

### (3) 実施日時

7月21日（金）午後1時30分～3時30分（乳がん・子宮がん検診、骨粗しょう症健診会場）

8月9日（水）午前9時30分～11時30分（胃がん・乳がん検診会場）

10月27日（金）午前9時30分～11時30分（乳がん検診、骨粗しょう症健診会場）

11月27日（月）午前9時30分～11時30分（肺がん・前立腺がん検診会場）

### (4) 実施状況

（人）

年齢	相談者数	男性		女性	
		実施者数	ペリオスクリーン陽性者（再掲）	実施者数	ペリオスクリーン陽性者（再掲）
40歳未満	1	0	0	1	1
40歳～64歳	22	3	3	19	14
65歳～74歳	14	3	3	11	10
75歳以上	5	5	4	0	0
合計	42	11	10	31	25

### (5) まとめ

相談者のうち35人に唾液中の出血反応が認められたが、歯の健康づくり得点の「歯ぐきから血が出ることがありますか」の項目で「はい」とチェックした人は18人であった。歯肉出血の自覚症状がない人に対して適切な口腔ケアを指導できるよい機会となった。

## 6 8020・9018運動 歯の健康コンクール

「80歳になっても20本以上自分の歯を残そう」という「8020運動」の一環として、8020運動歯の健康コンクールを開催し、8020（80歳以上で20本歯以上）、9018（90歳以上で18本歯以上）の達成者を表彰した。

### (1) 実施方法

広報や老人クラブ連合会等で対象者を募集し、尾北歯科医師会大口地区の歯科医療機関において審査を実施した。11月12日（日）尾北歯科医師会主催の「歯の健康センター」において表彰式を開催した。

### (2) 8020・9018 達成者

8020 達成者：16人（男性9人、女性7人） 9018 達成者：1人（女性1人）

## 7 歯の健康づくり得点

町民自身が歯を失わないための生活習慣ができているかセルフチェックをし、点数に従ったアドバイスを参考に生活習慣の改善を促すことを目的として、歯周病予防健診の受診者を始め、健康教育や歯科相談の参加者に歯の健康づくり得点チェックシートを配布し活用した。

### (1) 歯の健康づくり得点結果

(人)

質問項目	歯周病予防健診		妊婦 歯科健診	歯科 相談	健康まつり 衛生教育等	合計
	男性	女性				
歯ぐきが腫れる	13	27	27	20	18	105
歯がしみる	16	37	27	18	8	106
間食をよくする	23	68	66	25	29	211
趣味がない	11	33	36	7	10	97
かかりつけ歯医者なし	14	13	33	5	9	74
治療は早めに受けない	20	23	31	16	16	106
歯ぐきから血が出る	29	31	45	18	17	140
歯みがき1日2回未満	15	8	8	10	10	51
自分の歯ブラシがない	2	0	0	1	0	3
たばこを吸う	10	4	0	3	2	19
16点以上者数	29	47	23	15	28	142(41.0%)
実施者数	58	106	90	42	50	346

\*16点以上は歯を失うリスクが低いと判定される。

## 8 歯と口の健康週間（歯の健康センター）

歯と口の健康週間は、歯と口の健康に関する正しい知識を県民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって県民の健康の保持増進に寄与することを目的として、日本歯科医師会、愛知県歯科医師会、地区歯科医師会において実施される。

尾北歯科医師会では、平成29年6月4日（日）と11月12日（日）の2日間を実施日とし、歯の健康センターが開設された。

- (1) 実施場所 大口町保健センター
- (2) 対象者 乳幼児及び小学3年生までの児童、一般成人
- (3) 実施内容 歯科健康診査、フッ化物塗布（子ども）、健康相談
- (4) 従事者 尾北歯科医師会、愛知県歯科衛生士会尾張北部支部、健康生きがい課

- (5) 実施状況 (人)

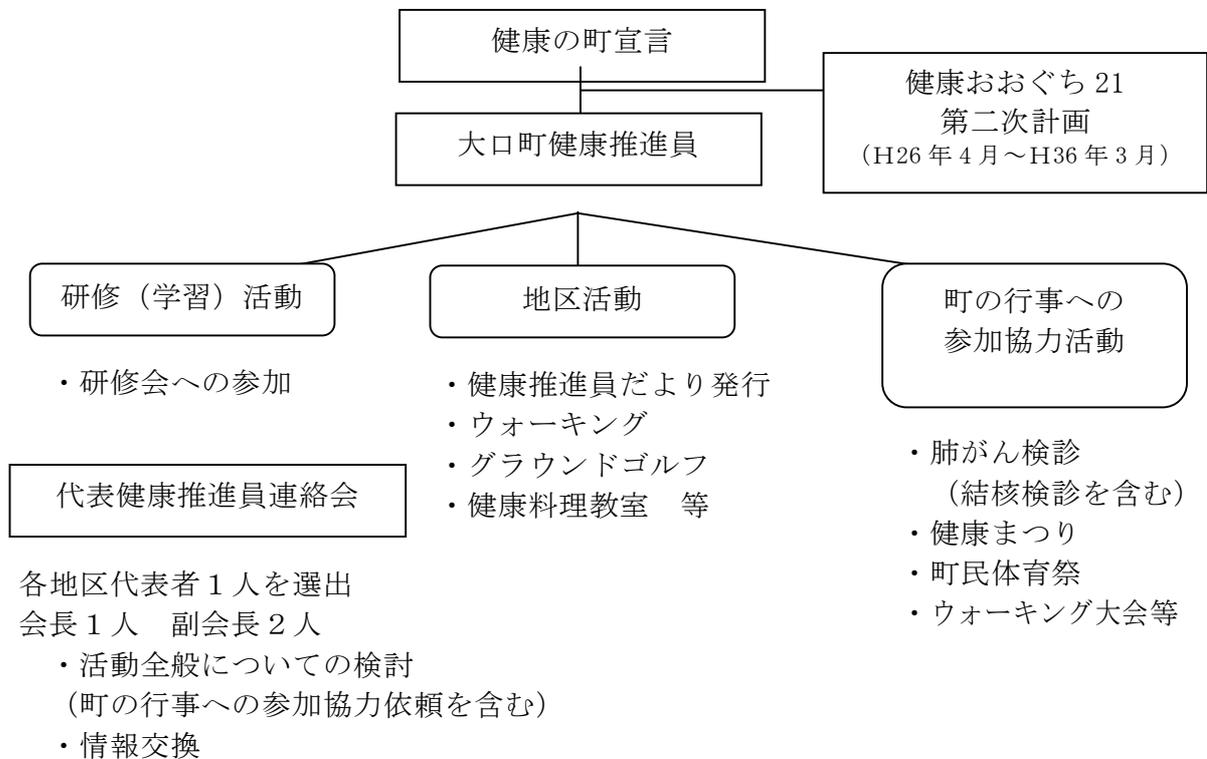
年度	実施時期	受診者数	内 訳	
			子ども	成人
26	6月	129	102	27
	11月	126	100	26
27	6月	134	112	22
	11月	130	101	29
28	6月	160	133	27
	11月	142	120	22
29	6月	154	129	25
	11月	137	117	20

## 5 健康推進事業

# 1 健康推進員活動

平成5年12月議会において「大口町健康の町宣言」が議決された。平成7年6月には、健康の町宣言事業の一環として、健康で幸せな生活を送るために、地区住民の健康意識を高め、地区活動を積極的に推進することを目的として、健康推進員制度が設置された。

平成25年4月に大口町健康推進員設置要綱の任期を3年から2年に変更した。今年度は第9期1年目。健康推進員研修会への参加や区の活動に協力すること以外に、地区活動では、ポールウォーキングやいきいき100歳体操などを継続しつつ、健康づくりのきっかけとなる活動を地区ごとに工夫して実施した。大口町健康づくり計画「健康おおぐち21第二次計画」は推進4年目となり、計画の周知と生活習慣の見直しを促す健康教育を健康推進員の研修会に組み込み啓発を図った。



(1) 健康推進員全体活動

実施日	内 容
11月4日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいまつり 2017 にてウォーキング大会開催 (参加者 354 人)</li> <li>・健康まつりへの参加</li> </ul> 「健康おおぐち 21 第二次計画の推進」各ブースへの協力

(2) 健康推進員研修会実施状況 (計 7 回実施)

今年度は任期 1 年目であるため、健康推進員本人への健康づくりと「健康おおぐち 21 第二次計画」の啓発を目的に研修会を実施した。

実施日	内 容	講 師	参加人数
平成 29 年 4月20日(木)	委嘱状交付式 保健事業について 健康推進員の活動について	健康生きがい課職員	47 人
6月14日(水)	運動講義・実技「自分の体力を知ろう」 ・2 万人体力測定・元気体操 ・健康づくりノートの活用確認 ・体力測定結果を踏まえた運動のすすめ	NPO 法人ウィル大口 スポーツクラブトレーナー	48 人
7月24日(月)	講義 「生活習慣病を予防するために」 ・特定健診のお知らせ	日本福祉大学社会福祉 総合研修センターより派遣	39 人
8月22日(火)	講義 「超高齢者社会におけるボランティアって 何だろう？」 ・健康マイレージについて	日本福祉大学社会福祉 総合研修センターより派遣	39 人
9月26日(火)	講義・実技 「ポールウォーキングってなに？」	ポーリウォーキング 協会マスターコーチ (健康運動指導士)	43 人
12月4日(月)	講義 「健康寿命を延ばす食生活」	日本福祉大学社会福祉 総合研修センターより派遣	34 人
平成 30 年 2月15日(木)	講義 「教えて！薬剤師さん～お薬との上手な付 き合い方～」 (戸籍保険課によるジェネリック医薬品講演会 と協働開催)	はぐる薬局 薬剤師	32 人

※下記について、健康推進員の研修の一環として案内し、参加を促した。

12月6日(水)	江南保健所主催 健康づくりチャレンジ推進事業 「ベジトレ講演会 ～野菜と運動を暮らしのサイクルに～」	13 人
南地域:1月20日(土) 北地域:2月10日(土) 中地域:2月3日(土)	まちづくり座談会 PART 1 ①大口町の現状と、この先予想されること ②これからの社会の課題について ③これまでの大口町の協働の取り組みについて	25 人
南地域:2月17日(土) 北地域:2月24日(土) 中地域:3月24日(土)	まちづくり座談会 PART 2 目指すは「安心して普通の暮らしが続けられる地域」	15 人

(3) 代表健康推進員連絡会実施状況（計6回実施）

実施日	主 な 内 容
平成 29 年 5 月 2 日（火）	平成 29 年度代表健康推進員役員選出と運営について 平成 29 年度健康推進員活動交付金について 地区活動について情報交換 結核肺がん検診への協力について 年間研修会等について
6 月 19 日（月）	平成 29 年度地区活動事業計画について 結核肺がん検診の実績報告について（反省会） 健康まつり時ウォーキング大会について
9 月 4 日（月）	ウォーキング大会について ・雨天時の判断、参加記念品、スタート時間、ゴール位置等 健康まつりへの協力について 地区活動情報交換
10 月 16 日（月）	ウォーキング大会について ・コース設定、募集チラシと参加者の締切、役割分担（案）等 健康まつりについて 地区活動の中間報告及び会計報告について
11 月 24 日（木）	ウォーキング大会・健康まつりの反省会 地区活動の中間報告及び会計報告について
平成 30 年 2 月 19 日（木）	平成 29 年度地区活動実績報告について 第 9 期推薦状況について

(4) 地区自主活動の状況

地 区	活 動 状 況
秋 田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秋田グラウンドゴルフ練習（毎週月曜日） 毎回 40～50 人</li> <li>・ 太極拳教室（毎月第2、第4金曜日） 毎回 20～25 人</li> <li>・ 地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援 48 人</li> <li>・ 早朝太極拳とポールウォーキング大会（全2回） 47 人</li> <li>・ 秋田区町民盆踊り大会（綿菓子作り、抽選会手伝い）</li> <li>・ 秋田秋季グラウンドゴルフ大会 65 人</li> <li>・ 健康まつりウォーキング大会 25 人</li> <li>・ 秋田グラウンドゴルフ春季大会 74 人</li> <li>・ 活動内容の検討と打ち合わせ（年間随時・新旧引き継ぎ会）</li> </ul>
豊 田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ しなやかお達者の会参加（毎月2回・年間24回） 10～15 人</li> <li>・ ごきぶり団子づくり 23 人</li> <li>・ 早朝ラジオ体操（7月下旬4日間） 110 人</li> <li>・ 地区盆踊り練習参加（2回）</li> <li>・ 町民体育祭への参加</li> <li>・ 健康まつりウォーキング大会 36 人</li> <li>・ 健康太極拳体験会 18 人</li> <li>・ 南地域自治組織への参加</li> <li>（総会・座談会・防災講演会・地域交流イベント）</li> <li>・ 豊田区自主防災訓練への参加と協力</li> <li>・ 地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援</li> <li>・ 活動内容の検討と打ち合わせ（随時）</li> <li>・ 健康推進員だよりの発行</li> </ul>
大屋敷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区グラウンドゴルフ春季大会支援 22 人</li> <li>・ 地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援 23 人</li> <li>・ ゴキブリ団子作り 27 人</li> <li>・ 早朝ラジオ体操会 大人 128 人 子ども 259 人</li> <li>・ 地区盆踊り大会練習（3回） 85 人</li> <li>・ 地区盆踊り大会支援</li> <li>・ 町民体育祭支援・競技参加</li> <li>・ 健康まつり・ウォーキング大会 34 人</li> <li>・ 地区防災の対策会支援 120 人</li> <li>・ 健康太極拳体験会 21 人</li> <li>・ 健康体操会、自主研修会 6 人</li> <li>・ 健康推進員だより発行（年4回）</li> <li>・ 活動内容の検討と打ち合わせ（随時）・新旧引き継ぎ会</li> </ul>
外 坪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親善グラウンドゴルフ大会 25 人</li> <li>・ グラウンドゴルフ練習（毎月第3水曜日） 125 人</li> <li>・ ポールウォーキング（毎月第1日曜日） 65 人</li> <li>・ 地区別対抗グラウンドゴルフ大会参加 9 人</li> <li>・ 町民体育祭協力</li> <li>・ 健康まつり、ウォーキング大会 31 人</li> <li>・ 外坪ウォーキング大会 45 人</li> <li>・ ミニグラウンドゴルフ大会 25 人</li> <li>・ 地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援</li> <li>・ 活動内容の検討と打ち合わせ（随時）</li> </ul>

地 区	活 動 状 況
河 北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援 24 人</li> <li>・ かんたんイス体操&amp;ストレッチ（全2回） 43 人</li> <li>・ ポールウォーキング講習 24 人</li> <li>・ 健康まつり時ウォーキング大会 36 人</li> <li>・ カントリーダンス 21 人</li> <li>・ ポールウォーキング（毎週火曜 19:30～）</li> <li>・ 陽だまりの会（毎月第2水曜日） 40～47 人</li> <li>・ 北地域自治組織（福祉事業部会）不定期</li> <li>・ 地区盆踊り（全2回）</li> <li>・ 活動内容の検討と打ち合わせ（随時）</li> </ul>
余 野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リズム体操（月2回） 13～20 人</li> <li>・ リズム体操無料体験実施（6/20～随時） 6 人</li> <li>・ 大口町トレーニングセンター体験（6/20～随時） 1 人</li> <li>・ 地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援</li> <li>・ グラウンドゴルフ大会（グラウンドゴルフ同好会と共催） 56 人</li> <li>・ 余野夏祭り実行委員会への参加・模擬店の出店</li> <li>・ 余野区防災訓練参加</li> <li>・ 健康まつり時ウォーキング大会 30 人</li> <li>・ 余野区ウォーキング大会（名鉄ハイキングへ参加） 36 人</li> <li>・ リズム体操懇親会 27 人</li> <li>・ 健康料理教室 24 人</li> <li>・ 活動内容の検討と打ち合わせのための定例会（月1回）</li> <li>・ 年度末反省会</li> </ul>
上小口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポールウォーキング（全28回） 延べ213 人</li> <li>・ ナイトウォーキング（全12回）</li> <li>・ 地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援</li> <li>・ ポケットパーク草取り（全4回）</li> <li>・ 町民体育祭参加</li> <li>・ 盆踊り練習（2回） 80 人～</li> <li>・ 早朝ラジオ体操に参加（8/28～8/31）</li> <li>・ 健康まつり時ウォーキング大会（上小口22人・萩島13人） 27 人</li> <li>・ 区民歩け歩け大会に参加、ポールウォーキングの紹介 81 人</li> <li>・ 犬山ウォーキング大会 24 人</li> </ul>
中小口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康体操（毎週火曜日）午前9時30分～午前10時30分 毎回20人前後</li> <li>・ 地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援</li> <li>・ 健康まつり時ウォーキング大会 33 人</li> <li>・ ファミリーウォーキング（リトルワールド） 30 人</li> </ul>
下小口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ナイトウォーキング（毎週金曜日）（5月～10月）全11回 52 人</li> <li>・ 地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援 49 人</li> <li>・ 地区盆踊り大会練習参加 会場設営等支援</li> <li>・ 町民体育祭参加</li> <li>・ 健康まつり時ウォーキング大会 49 人</li> <li>・ 太極拳体験教室 32 人</li> <li>・ 健康ボウリング 39 人</li> <li>・ 健康料理教室「骨を強くする！かんたん時短レシピ」 21 人</li> <li>・ ポールウォーキング教室 38 人</li> <li>・ 活動内容の検討と打ち合わせ</li> </ul>

地 区	活 動 状 況
垣 田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援 13 人</li> <li>・ 垣田グラウンドゴルフ大会</li> <li>・ 夏祭り参加 8 人</li> <li>・ 中央公園の草取り 2 人</li> <li>・ 垣田防災 A E D 講習参加 16 人</li> <li>・ 健康まつり時ウォーキング大会 10 人</li> <li>・ 春のウォーキング大会</li> <li>・ 垣田グラウンドゴルフ大会</li> <li>・ 活動内容の検討と打ち合わせ</li> </ul>
さつき ヶ丘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いきいき 1 0 0 歳体操の奨励（毎週水曜日） 毎回 40 人</li> <li>・ 高齢者体力測定受付 52 人</li> <li>・ 地区肺がん検診（結核検診を含む）の周知啓発と当日支援</li> <li>・ 子ども会夏休みラジオ体操支援（7/24～7/28・8/22～26） 延べ 300 人</li> <li>・ さつきヶ丘納涼祭り手伝い 延べ 600 人</li> <li>・ 町民体育祭参加協力</li> <li>・ さつきヶ丘 A E D 講習会参加 24 人</li> <li>・ バスハイキング白川郷散策 50 人</li> <li>・ 健康まつり時ウォーキング大会 35 人</li> <li>・ 料理教室「骨を強くしませんか？～元気であるために～」 31 人</li> <li>・ 健康講話（今井先生） 32 人</li> <li>・ 活動内容の検討と打ち合わせ（随時）</li> </ul>

## 2 健康おおぐち 2.1 第二次計画の推進

平成16年3月に、「健康で笑顔のおおぐち 今日も元気 明日も元気」を大目標に掲げ、「運動、食生活、こころ、たばこ・アルコール、歯の健康」の5分野の目標を定めた「健康おおぐち 21 第一次計画」を策定した。平成20年3月の中間評価では、特定健康診査の開始に伴い「生活習慣病予防」を加えた6分野の目標を定め、健康づくりの取組の見直しを行った。

さらに、平成26年3月に、平成26年度から平成35年度までの10年間の計画期間とする「健康おおぐち 21 第二次計画」を策定した。第二次計画では、「健康で笑顔の大口 みんな元気 ずっと元気!! 見直そう 生活習慣」を大目標に掲げ、健康寿命の延伸を目指し、「①生活習慣の見直し、②生活習慣病の発症予防と重症化予防、③元気を支えるまちづくり」を基本目標として取組を進めている。

取組は、町民が健康づくりに関心を持って主体的に実践できるよう、健康づくり事業の周知啓発、地区活動の推進、ボランティア活動の支援及び人材育成事業の推進を図った。

### (1) 2万人体力測定事業

#### ① 目的

体力測定を行うことで、参加者自らが現状の体力を把握し、健康状態や生活習慣を振り返り、自分に合った運動習慣を身につけるきっかけとする。

#### ② 実施状況

実施日	従事者	対象者	実施者数
5月10日(金)	ウィル大ロススポーツクラブ運動指導員 元気づくりサポーター 保健師	余野老人クラブ	21人
5月19日(金)		さつきヶ丘老人クラブ	51人
6月7日(水)		下小口老人クラブ	18人
6月22日(木)		秋田老人クラブ	47人
9月19日(火)		豊田老人クラブ	32人
9月20日(水)		垣田老人クラブ	11人
6月14日(水)		第9期健康推進員	47人
毎月第2水曜日	トレーニングセンター	一般町民	19人
毎月第2金曜日	トレーニングセンター運動指導員、 元気づくりサポーター、保健師	BCG接種児の保護者	133人
合計			379人

#### ③ 実施内容

大口町2万人体力テスト・測定(老人クラブは最大一步幅、開眼片足立ち、タイムアップアンドゴーを追加)、結果指導(老人クラブは全体説明のみで個別指導なし)

#### ④ まとめ

参加者(一般町民19人とBCG接種児の保護者133人)の間診より、「定期的な運動習慣がある」と回答した人は、21人(13.8%)だった。運動習慣者の割合の増加を図るために、今後も2万人体力測定事業を継続し体力測定の実施者を増やすとともに、運動習慣の獲得につながる指導の実施が必要である。また、老人クラブ対象の体力測定は、高齢者の運動機能の維持向上を目的とした一般介護予防事業として活用できるよう、結果指導の方法を検討する必要がある。

## (2) おおぐち健康マイレージ事業

### ① 目的

健康づくりへの動機づけ及び健康な生活習慣の定着を促すため、健診受診や生活習慣など指定の健康づくりに関する事項をポイント化して付与し、インセンティブを設けることで個人が生活習慣改善に取り組む姿勢を支援する。

### ② 実施期間

平成 29 年 4 月 3 日（月）～平成 30 年 3 月 30 日（金）

### ③ 実施内容

おおぐち健康マイレージチャレンジシートの配布、あいち健康づくり応援カード「まいか」の発行、事業の周知（町のホームページ、広報、4/10 勤労者協議会、乳幼児健診等）

### ④ 対象者

18 歳以上の町内在住・在勤者

### ⑤ 実施状況

年代・性別まいか交付数

\*（ ）は在勤者再掲、1 人は役場職員

	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	合計
男	0 人	0 人	2(1)人	1 人	4 人	6 人	2 人	15 人
女	1 人	0 人	2 人	4 人	8 人	20 人	14 人	49 人

### ⑥ まとめ

健康まつり会場において、ポイント達成者を対象とした抽選会を実施するとともに、健康マイレージの参加を呼びかけたことで、町の保健事業に参加したことがない人にも啓発ができた。勤労者協議会で周知したが在勤者の参加者がいなかった。今後は、健康に関心のない人や情報が届きにくい人、健康講座への参加が困難な人等に対しても、健康づくりに取り組むきっかけの一つとして健康マイレージを活用してもらえるような周知が必要である。

## (3) 健康教育

実施日	内 容（従事者）	対象者	参加人数
2 月 6 日（火）	調理実習「風邪予防・発酵食品を使った温かいメニュー」（管理栄養士）	余野地区住民 （健康推進員地区活動）	24 人
2 月 11 日（日）	調理実習「骨を強くしませんか？～元気でいるために～」(管理栄養士)	さつきヶ丘地区住民 （健康推進員地区活動）	32 人
2 月 23 日（金）	調理実習「骨を強くする簡単時短レシピ」(管理栄養士)	下小口地区住民 （健康推進員地区活動）	21 人

## (4) 広報「おおぐち」掲載

広く町民への啓発として広報誌に「みんなですすめる！健康おおぐち 2 1 第二次計画」のコーナーを設け、計画の概要や「10 年後も元気」でいられるような健康づくりの周知を目的に掲載している。

掲載月	内 容	
6 月号	【食生活分野】	食育推進月間「早起き・早寝・朝ごはん」
9 月号	【食生活分野】	食生活改善普及運動

(5) 健康まつり

・開催日：平成 29 年 11 月 4 日（土） ・参加者：延べ 2,483 人

コーナー名	人数	コーナー名	人数
体力測定（東海学園大学、元気づくりサポーター）	171 人	ポールウォーキング・姿勢チェック （ポールウォーキングリーダー）	35 人
おおぐち健康マイレージ抽選会 啓発・チャレンジ宣言コーナー	36 人 52 人	食育コーナー（クイズ） （だしの試飲）	90 人 120 人
健康相談 血圧測定	3 人 112 人	禁煙啓発コーナー（スモーカーライザー、 禁煙パネル展示）	46 人
体組成測定	160 人	足裏バランス測定	184 人
食事診断（ヘルスジャッジ）	26 人	脳年齢チェック	90 人
血管年齢チェック	180 人	口腔内細菌チェック	70 人
ストレス測定	84 人	脳トレーニング（一期一会荘）	193 人
アルコール相談（尾北断酒会）	59 人	歯科相談（歯科衛生士会）	47 人
100 歳すごろく（尾北医師会）	94 人	癒しの抹茶コーナー（高齢者福祉協力員）	298 人
お薬相談・ちびっこ薬剤師体験（丹羽薬剤師会）	134 人	認知症クイズ（地域包括支援センター）	199 人

(6) 地域活動を推進する人材・グループの育成と活動支援

① 元気づくりサポーター活動

ア 活動内容 町が実施する体力測定の協力

イ 活動状況

\*（ ）延人数

活動回数	体力測定対象者	活動場所	活動実人員
5 月～11 月 5 回	老人クラブ会員	各地区集会所	15 (26) 人
6 月 14 日 1 回	健康推進員	健康文化センター	5 (5) 人
11 月 4 日 1 回	健康まつり来場者	健康文化センター	10 (12) 人
毎月第 2 金曜日 12 回	BCG 接種児の保護者	保健センター	15 (43) 人
合計 19 回			26 (86) 人

ウ 研修会の参加

- ・日程 平成 30 年 3 月 16 日（金） 午後 1 時 45 分～3 時 15 分
- ・場所 健康文化センター
- ・内容 講演「ライフステージごとの身体活動・運動について」  
講師 東海学園大学 スポーツ健康科学部 島 典広 准教授
- ・参加者 元気づくりサポーター 14 人  
体力測定委託事業所（ウィル大口スポーツクラブ、トレーニングセンター）

エ まとめ

元気づくりサポーターの活動状況を年齢別で見ると、事業に協力できたサポーター 26 人中 14 人が 70 歳以上（53.8%）で、高齢者が半数を占めていた。活動が高齢者の生きがいや社会参加の場となっている一方、「若い人にバトンタッチしたい。」「体がついていかない。」等、加齢に伴う負担を訴える人が増えてきた。運動習慣の定着化の動機付けとなる体力測定を今後も実施できるよう、活動意欲のある高齢者を始め、未就園児の母親や退職後ボランティア活動をしたい町民等、多くの町民が気軽に活動に協力できる方法を検討する必要がある。

## ② 元気づくりサポーター養成講座

自らが体力の現状を知り積極的に体力の保持増進に努める実践者となるとともに、町が実施する体力測定への協力者となる元気づくりサポーターを養成することを目的として開催した。受講者は、70歳未満で体力測定に関するボランティア活動に意欲のある町民を対象として、広報等で募集した。

### ア 参加状況

\* ( )は延人数再掲

コース	40歳未満	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	合計
モーニング	1(2)人	1(2)人	1(2)人	1(2)人	6(9)人	10(17)人
ナイト	2人	2人	0人	0人	2人	6人

モーニングコース：10月2日(月)午前, 10月13日(金)午後/ナイトコース：10月18日(水)夜

### イ 内容

講義：「体力測定の意義と今後の展望」／講師：東海学園大学 島典広 准教授

演習：体力測定の方法を学ぶ

実習：BCG接種児の保護者を対象とする体力測定を体験する（モーニングコースのみ）

## ③ ポールウォーキング自主活動

平成24年度から啓発してきたポールウォーキングは、ポールウォーキングリーダーと第9期健康推進員の協力により、町内7地区で自主活動が行われている。自主活動への参加者は自分のポールを購入し、継続した運動として定着している。また、ポールウォーキングを始めた感想としては、歩くのが楽しくなった、腰やひざの痛みを気にせず歩ける、姿勢がよくなったといった意見が多く聞かれ、積極的に外に出られるようになった、自分が明るくなった気がするといった、心の健康に関する感想も多く寄せられた。

	実施日	集合場所	1回あたりの参加人数
ポールウォーキング自主活動	毎週水曜日 午前9時30分～	健康文化センター 1階ホール	約30人
上小口ポールウォーキング	毎週火曜日 午前9時30分～	上小口学習等供用施設	約10人
余野ポールウォーキング	毎週木曜日 午前8時30分～	余野学習等共同利用施設	約10人
ハッピースマップ健康教室	原則第3金曜日 午前9時30分～	大口町健康文化センター 1階ホール	約5人
さつきヶ丘ポールウォーキング	毎週水曜日 午前9時～10時	さつきヶ丘防災センター	約15人
外坪ポールウォーキング	毎月第1日曜日 午前8時～	外坪学習等共同利用施設 (健康推進員主催)	約10人
河北ポールウォーキング	毎週火曜日 午後7時30分～	ラ・モーナ幼稚園正門前 (健康推進員主催)	約15人

④ ポールウォーキングリーダー定例会（さくらPW定例会）

ア 目的

一人一人が健康で活力ある地域づくり、町づくりをめざして、ポールウォーキングリーダーとともに町民の方々へのさらなる普及を図るため、事業の計画や意見交換を行う。

イ 対象

ポールウォーキングリーダー養成講座受講者及び地域でのポールウォーキング自主活動を実施している方

ウ 実施回数及び場所

定例会 3回 健康文化センター1階 多目的室

エ 従事者

保健師・看護師・管理栄養士

オ 内容

事業計画（町民体育祭、健康まつり、桜並木ジョギング大会）と各自主グループ活動の情報交換

カ 参加状況

参加延べ人数 31人（実人数 15人）

⑤ ポールウォーキング自主グループ支援

ア ポールウォーキングリーダーの支援教室

（ア）目的

ポールウォーキングリーダーの資質向上と自主活動支援において、自主活動参加者の横のつながりを強化する。また、ウォーキング以外のポールの活用方法について知る。

（イ）対象 ポールウォーキングリーダー及び自主活動に参加している一般住民

（ウ）実施日及び場所

平成30年9月5日（木）健康文化センター1階 多目的室

（エ）講師 健康運動指導士

（オ）内容 ウォーキング以外のポールの使い方

（カ）参加状況 14人

イ 町外ポールウォーキング

（ア）目的

各地区での自主活動グループ間の交流を深め、ポールウォーキングのモチベーションやスキルを高め合う。

（イ）対象 ポールウォーキングリーダー及び自主活動に参加している一般住民

（ウ）実施日及び場所

平成30年3月15日（木）あいち健康の森公園・あいち健康プラザ

（エ）従事者 保健師 看護師

（オ）参加状況 ポールウォーキング自主活動参加者 36人

(7) 大口町栄養改善事業「食育担当実務者連絡会議」

住民への栄養改善事業及び食育を円滑にかつ効果的に推進するため、また健康おおぐち21第二次計画の推進のため、各ライフステージの食育を担当する実務者間の交流と連携を図り、それぞれの対象を通して町民の生涯を通した一貫性のある食育の取り組みを目指すことを目的に平成26年度から実施している。

① 実施日時と内容

実施日	内 容
第1回 平成29年7月3日(月)	・6月食育月間の取り組み結果と意見交換 (地産地消給食の実施) ・秋の食育連携事業の取り組みについて意見交換
第2回 平成29年12月18日(月)	・秋の食育連携事業テーマ「だしと日本料理」の取組結果について情報交換 ・来年度の食育計画について意見交換
第3回 平成30年3月14日(水)	・平成29年度の食育の取り組みと現状・課題について意見交換 ・各部署の次年度食育計画内容について情報交換 ・次年度の取り組みについて

② 出席者

健康生きがい課 管理栄養士 2人

町保育所 保育長 1人、管理栄養士 1人

町立小学校及び中学校の栄養教諭及び学校栄養職員(県職) 2人

## 6 感染症予防事業

# 1 予防接種

予防接種は、感染症予防のために最も有効な手段の一つである。その目的を果たすためには、予防接種法等関係法令の規定に基づき乳幼児や学童、高齢者に対して安定的に予防接種の機会を提供し、安全で有効な予防接種を実施し、一定の接種率を確保することが重要である。広報・ホームページ等で接種可能な医療機関や接種対象者等を周知し、未接種者には乳幼児健診や個別通知で接種勧奨を行い接種率の向上に努めている。

## (1) 個別接種実施体制

出生届出時に戸籍保険課において、予防接種予診票綴と説明書を交付している。日本脳炎 2 期及び二種混合の予防接種の予診票については、個別通知し接種勧奨している。転入者については保健センターで予診票の交付(差し替え)を行っている。

高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌予防接種は個別通知し、予診票を送付している。接種希望者は委託医療機関にて一部負担金を支払い接種を受ける。一部負担金について、インフルエンザは 1,200 円、高齢者肺炎球菌は 2,000 円で、町民税非課税世帯は事前申請により一部負担金が免除される。

### ア 予防接種会場

予防接種の種類		接種方法	接種会場
A 類疾病	B 型肝炎	個別接種	尾北医師会管内 (大口町・扶桑町 江南市・犬山市) の委託医療機関 及び 愛知県内の委託 医療機関  ※H28.4.1 から 高齢者の予防接種も 愛知県広域での接種が 可能となった。接種前 に手続きが必要。(連絡 票・予診票が必要。)
	ヒブ		
	小児用肺炎球菌		
	四種混合 (百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ)		
	ポリオ(急性灰白髄炎)：不活化ワクチン		
	水痘		
	MR (麻しん・風しん混合)・麻しん・風しん		
	日本脳炎		
	二種混合 (ジフテリア・破傷風)		
子宮頸がん			
B 類疾病	高齢者インフルエンザ	個別接種	尾北医師会管内 (大口町・扶桑町 江南市・犬山市) の委託医療機関 及び 愛知県内の委託 医療機関  ※H28.4.1 から 高齢者の予防接種も 愛知県広域での接種が 可能となった。接種前 に手続きが必要。(連絡 票・予診票が必要。)
	高齢者肺炎球菌		
A 類疾病	BCG	集団接種	保健センター

平成 26 年 4 月 1 日から A 類定期 (乳幼児・学童) のみ対象で開始となった愛知県広域予防接種(尾北医師会管内以外の愛知県広域内の委託医療機関での接種が可能)は、平成 28 年 4 月 1 日から B 類定期 (高齢者) も対象に追加された。接種希望者は事前に申請し、連絡票 (高齢者は予診票も必要) を受け取り予約後に接種する。

イ 個別予防接種の種類と期間

B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、ポリオ、水痘、MR(1期・2期)、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん、高齢者肺炎球菌予防接種は4月から3月まで一年を通して実施した。高齢者インフルエンザ予防接種はワクチンの供給不足のため、接種期間を1か月間延長し平成29年10月15日～平成30年1月31日まで実施した。

(2) 実施状況

(単位：人・%)

A 類疾病		年度接種率	平成 29 年度			28 年度	27 年度	26 年度
			対象者	被接種者	接種率	接種率	接種率	接種率
<b>BCG</b>			252	248	98.4	99.6	99.2	99.2
<b>B型肝炎</b> (H28.10.1～開始)	1回目		241	242	100.4	78.9		
	2回目		241	250	103.7	71.7		
	3回目		241	245	101.7	33.2		
<b>ヒブ</b> (H25.4.1～開始)	1回目		241	244	101.2	98.8	100.0	111.7
	2回目		241	254	105.4	98.0	102.6	101.7
	3回目		241	255	105.8	98.8	100.0	100.4
	4回目		241	256	106.2	111.0	98.7	99.1
<b>小児用肺炎球菌</b> (H25.4.1～開始)	1回目		241	246	102.1	98.4	100.4	114.2
	2回目		241	255	105.8	98.8	103.5	103.8
	3回目		241	256	106.2	98.8	100.4	99.6
	4回目		241	258	107.1	110.5	98.7	94.7
<b>四種混合</b>	第1期初回1回目		241	252	104.6	99.6	103.1	104.2
	第1期初回2回目		241	255	105.8	100.8	100.0	104.6
	第1期初回3回目		241	255	105.8	98.0	103.9	99.6
	第1期追加		241	262	108.7	114.5	95.0	83.2
<b>ポリオ</b> (不活化ワクチン)	第1期初回1回目							
	第1期初回2回目							
	第1期初回3回目							
	第1期追加							80.8
<b>水痘</b> (26.10.1～開始)	1回目		247	256	103.6	109.6	100.0	32.0
	2回目		256	271	105.9	101.9	111.9	58.1
<b>麻しん・風しん混合(MR)</b>	第1期		254	252	99.2	105.9	99.2	94.7
	第2期		243	238	97.9	97.2	100.0	95.3

※百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオは、三種混合ワクチン(百日咳・ジフテリア・破傷風)の販売が中止されていたため、四種混合ワクチン(百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ)を使用。

(単位：人・%)

A 類疾病		年度接種率			29 年度			28 年度	27 年度	26 年度
		対象者	被接種者	接種率	接種率	接種率	接種率	接種率		
日本脳炎	第 1 期初回 1 回目	270	287	106.3	100.0	120.5	116.0			
	第 1 期初回 2 回目	270	284	105.2	96.3	122.8	116.0			
	第 1 期追加	254	214	84.3	117.6	123.8	122.7			
	第 2 期	239	215	90.0	95.3	62.3	49.0			
二種混合	第 2 期	232	214	92.2	92.2	92.9	90.9			

※日本脳炎：平成 7 年 4 月 2 日～平成 19 年 4 月 1 日生まれの人は、20 歳未満まで接種期間が延長されている。平成 29 年度予防接種の特例に係る第 2 期積極的勧奨者は当該年度 18 歳となる者。

(単位：人・%)

A 類疾病		年度接種者数			29 年度		28 年度	27 年度	26 年度
		対象者	被接種者	接種率	被接種者	被接種者	被接種者	被接種者	
子宮頸がん予防 (ヒトパピローウイルス感染症) ※H25.4.1～定期開始	1 回目	125	0	0	0	1	0		
	2 回目	125	0	0	0	1	0		
	3 回目	125	0	1	0	1	1		

※平成 25 年 6 月から子宮頸がん予防接種の積極的勧奨を差し控えている。

(単位：人・%)

B 類疾病	平成 29 年度被接種者 (対象者 1,169 人：接種率 50.1%)										28 年度	27 年度
	60 歳以上 65 歳未満	65 歳	70 歳	75 歳	80 歳	85 歳	90 歳	95 歳	100 歳	計	接種率	接種率
高齢者 肺炎球菌	1	133	180	160	72	28	12	0	0	586	51.5	50.0

※対象者は、60 歳以上 65 歳未満で基準の障害を有する方または、当該年度 65・70・75・80・85・90・95・100 歳の方で、過去に 23 価肺炎球菌ワクチンを接種していない方。

(単位：人・%)

B 類疾病	平成 29 年度			28 年度	27 年度	26 年度
	対象者	被接種者	接種率	接種率	接種率	接種率
高齢者インフルエンザ	5,402	3,101	57.4	61.5	61.3	62.9

(3) 高齢者肺炎球菌(任意)予防接種費用の助成

平成 23 年 6 月 1 日から下記の対象者に対して、高齢者が肺炎球菌予防接種を受けやすい体制を整備し、肺炎球菌に起因する肺炎の発症及び重症化を予防することを目的に、高齢者肺炎球菌予防接種費用を助成している。

ア 対象者

75 歳以上の高齢者及び 66 歳以上 75 歳未満で心臓・腎臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫機能に障害(身体障害者手帳 1 級相当)を有する者。過去に高齢者肺炎球菌を接種した者は除く。高齢者肺炎球菌の定期接種開始に伴い、定期対象者は対象外とする。

イ 助成金額

町民税課税世帯(一部助成) 4,089 円

町民税非課税世帯及び生活保護世帯の方は(全額助成) 8,089 円

ウ 助成状況

(単位：人)

年度 助成者区分	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
一部助成者数	1	14	6	29
全額助成者数	0	0	1	8

(4) 風しん抗体検査及び風しんワクチン接種費用の助成

平成 25 年 7 月 1 日から、風しんの抗体価が低い妊娠初期の妊婦が風しんに感染した場合の胎児への先天性風しん症候群の発生を予防することを目的として、風しんワクチン接種費用の助成事業を実施している。平成 26 年 4 月 1 日からは、風しん抗体検査費用の一部助成も開始した。

ア 対象者

妊娠を予定又は希望する女性及び、その配偶者又は事実上婚姻関係にある者  
妊娠している女性の配偶者又は事実上婚姻関係にある者

※ただし、風しんワクチン接種費用助成の場合、風しん抗体価が基準値より低く上記の条件に該当する者

イ 助成内容

風しんワクチン接種費用の 1/2 (上限 5,000 円)

風しん抗体検査費用の 1/2(上限 5,000 円)

※ただし、町民税非課税世帯及び生活保護世帯の者は全額助成。

ウ 助成状況

(単位：人)

年度 内容	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
風しん抗体検査	13	11	17	12
風しんワクチン接種	9	6	7	4
MR ワクチン接種	8	19	8	16

## 2 新型インフルエンザ等対策

新型インフルエンザは、毎年流行を繰り返してきたインフルエンザウイルスとはウイルスの抗原性が大きく異なる新型のウイルスが出現することにより、およそ10年から40年の周期で発生している。ほとんどの人が新型のウイルスに対する免疫を獲得していないため世界的な大流行となり、大きな健康被害とこれに伴う社会的影響をもたらすことが懸念されている。

平成24年5月に、「新型インフルエンザ等対策特別措置法」が制定された。国においては、平成25年6月に「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」を策定し、愛知県でも同年11月に「愛知県新型インフルエンザ等対策行動計画」が策定された。大口町においても国・県と同様に新型インフルエンザ等対策を医療体制確保のみならず、社会機能を維持すべき危機事案として捉え、「大口町新型インフルエンザ等対策行動計画」を策定した。この計画に規定する対策の実効性を確保し、本町が行う業務の優先度に関する基本的な考え方や職員等の感染対策等についてあらかじめ整理し、新型インフルエンザ等発生時においても、大口町がその機能を維持し必要な業務を継続することができるよう、業務の整理等、発生時の業務継続上の基本的事項を定めることを目的として、「大口町業務継続計画」（新型インフルエンザ等編）を平成29年3月に策定した。平成29年度は、4月の機構改革に伴い、各課での修正及び業務の見直しを行い改訂した。また、11月7日愛知県新型インフルエンザ等対策総合机上訓練に併せて、業務継続計画に基づき大口町新型インフルエンザ等対策情報伝達訓練を実施した。

### (1) 大口町業務継続計画（新型インフルエンザ等編）改訂の経過

実施月	内 容
平成29年 4月4日	大口町業務継続計画（新型インフルエンザ等編）を行政経営会議にて策定報告。
4月19日	文教福祉常任委員会協議会に策定報告。
4月27日	議会議員全員協議会に策定報告。
11月24日	部課長会議にて機構改革に伴い各課に所属別業務整理表等の修正を依頼。
平成30年 3月30日	大口町新型インフルエンザ等対策行動計画及び業務継続計画（新型インフルエンザ等編）の改訂を報告。

### (2) 特定接種

新型インフルエンザ等対策特別措置法の規定に基づく特定接種については、特定接種管理システムにて登録した内容が厚労省にて確認された。

### (3) 住民接種

実施月日	内 容
平成 29 年 8 月 7 日	尾北医師会管内市町(江南市・犬山市・大口町・扶桑町)と実務者会議を開き、情報共有と課題検討を実施。
8 月 10 日	三市二町保健行政課長会議で検討(岩倉市・江南市・犬山市・大口町・扶桑町)。学校教育課と協議。
9 月 8 日	学校連絡会にて、住民接種体制の協力を依頼。
9 月 13 日	尾北医師会と(会長市である江南市が代表で)協議。
10 月	新型インフルエンザ等発生時における住民接種体制構築に関する検討課題検討シートを修正し、愛知県へ提出。
11 月 17 日	尾張北部医療圏(春日井市・小牧市・犬山市・江南市・岩倉市・大口町・扶桑町)実務者(医師会・薬剤師会・医療機関・行政)会議にて各市町の検討課題シートの情報共有と愛知県広域化の検討を行った。
平成 30 年 1 月 19 日	新型インフルエンザ等対策研修会にて県内の情報共有と第二次医療圏単位での愛知県広域化に対する協議結果の報告を受けた。
2 月 22 日	「愛知県の住民接種の広域接種対象者」の考え方が定められた。

### (4) 水害による家屋の消毒

実 施 月 日	内 容	災 害
平成 29 年 7 月 14 日	床下浸水 1 件 浸水のため消毒不可	7 月 14 日 豪雨
7 月 15 日	床下浸水 1 件 浸水のため消毒不可	
7 月 16 日	床下浸水 1 件 家屋消毒実施	
8 月 20 日	床下浸水 1 件 家屋消毒実施	8 月 18 日 台風
8 月 21 日	床下浸水 6 件 家屋消毒実施	
8 月 22 日	床下浸水 1 件 家屋消毒実施	
8 月 23 日	床下浸水 1 件 家屋消毒実施	

### (5) その他

平成 30 年 2 月 28 日 江南保健所開催の感染症患者対応に係る防護服着脱訓練受講

## 7 その他

## 1 学生実習指導

公衆衛生の視点を持った保健師、管理栄養士、看護師を育成するため、地域で行われている公衆衛生看護・栄養活動を学ぶ場として実施している。専門職として多岐にわたる役割の中で、生活の基盤となる公衆衛生の実践を学び、臨床と地域の連携を進めていく上で大切な機会となっている。また学生指導を通して、日々行っている保健活動を改めて見直す機会となっている。

学 校 名	養成課程	実習生数	実習期間
愛知医科大学 看護学部	保健師	2人	平成29年 10月23日～11月17日
名古屋経済大学 人間生活科学部 管理栄養学科	管理栄養士	5人	平成29年6月28日 (4か月児健診)
名古屋経済大学 人間生活科学部 管理栄養学科	管理栄養士	5人	平成29年7月5日 (3歳児健診)
名古屋女子大学 家政学部 食物栄養学科	管理栄養士	5人	平成29年7月19日 (らくらく離乳食教室)

※学生は母子保健・成人保健・介護予防・住民と協働で進める健康づくりの取り組みを見学し、また対象者の特徴にあわせた健康教育、地区把握等を学んだ。

※管理栄養士養成施設の学生は、1週間の保健所実習の間に市町村保健センターの見学実習が位置付けられている。実習の事前課題として、見学する事業の対象児をターゲットとした献立作成を課し、見学実習に加えて事前課題の考察を行った。また、成人保健として、住民と協働で進める生きがいつくりの場「憩いの四季」を視察した。

## 2 在宅医療介護連携事業

厚生労働省は2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活支援を目的として、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制「地域包括ケアシステム」の構築を推進している。また、「地域包括ケアシステムの構築」のためには、多くの医療職種によって提供される在宅医療と、介護関係職種を加えた多職種による真に包括的なケアのための協働・連携の体制を整えることが必要である。

当町では、平成27年度から尾北医師会の協力を得ながら、この取り組みをすすめてきた。29年度は、地域包括ケアシステムを「地域（まち）づくり」と捉え、持続可能な地域づくりにむけて、地域の強み、弱み、住民ニーズ、地域課題を整理する過程から地域の関係者を巻き込みながら進めていく取り組みを行った。

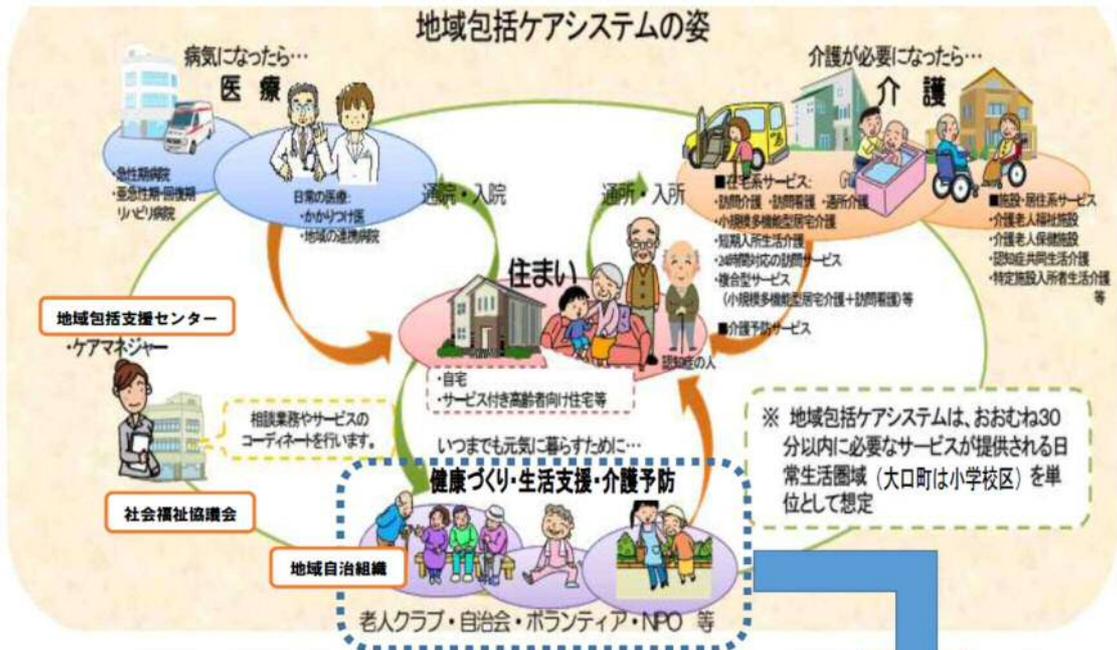
### 進化する地域包括ケアの植木鉢

**注目点は、本人の選択が重視されるべきとなっている**

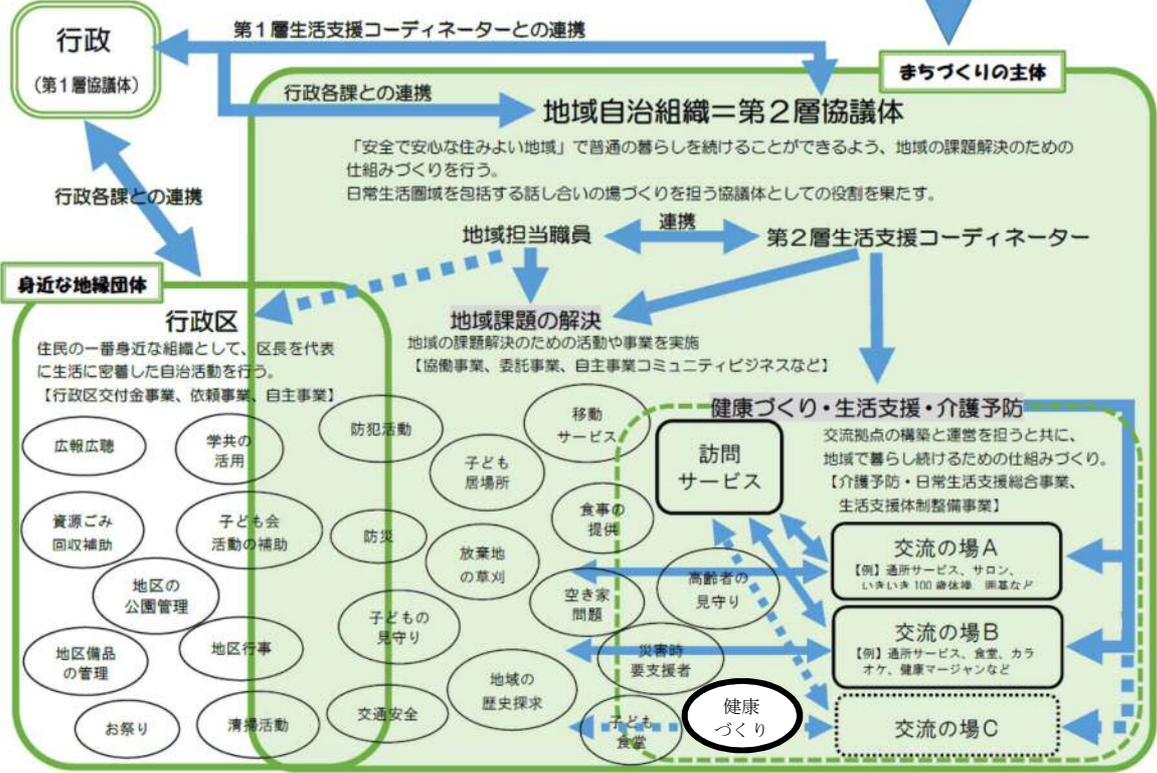


出典：平成28年3月 地域包括ケア研究会報告書

# 『みんなが主役！ ぶつうに くらしつづけられる しあわせな地域(まち)大口』

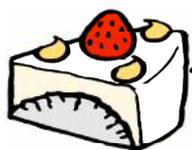


これからの地域づくりのイメージ (案)



平成29年度大口町地域包括ケアシステム構築に向けた推進状況

会議名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成30年度	
大口町	大口町 地域包括 ケア体制		26日 第1回高齢者 サービス調整会 議		28日 第2回高齢者 サービス調整会 議	第7期介護保険事 業計画・高齢者保 健福祉計画の検討	29日 第3回高齢者 サービス調整会 議			15日 第4回高齢者 サービス調整会 議	11日 第5回高齢者 サービス調整会 議		第6回高齢者サー ビス調整会議  第7期介護保険 事業計画・高齢者 保健福祉計画完 成		
										地域包括ケアシステム 推進協議会要綱告示				地域包括ケアシ ステム推進協 議会設置	
	住民啓発		検討	→					4日 健康まつり		医師会との協働事 業で啓発事業実施	10日 福祉講演 会	2日 さくら大学		
	高齢者部会							立ち上げに向けての 打ち合わせ	→					合同研修会	
	次世代部会							立ち上げに向けての 打ち合わせ	→					合同研修会	
	医療・介護専門 職部会							立ち上げに向けての 打ち合わせ	(29年度まで は、多職種連携 会を実施)	→		2日 在宅医療・ 介護連携事業全 体会			
	生活支援体制整 備事業	生活支援コーディ ネーターを社会福 祉協議会に委託						25日 協働研修会 ① 生活支援コーディ ネーター 研修会	6日 協働研修会②	15日 協働研修会 ③ 生活支援コーディ ネーター 研修会	(生活支援の研修会)	20日 まちづくり 座談会①	3日・10日座談会① 17日・24日座談会② 生活支援コーディネ ーター 研修会	24日 座談会②	
	ケアマネ連絡会	研修会、事例検討会を 実施していく 12日		15日 合同研修会		1日 合同研修会			11日 合同研修会		13日 合同研修 会 (食事 について)	10日 食支援	14日 合同研修会	14日	
	通所系連絡会		15日		18日		15日		15日			15日		15日	
	訪問系連絡会	18日 (ヘルパーと訪看)		21日		23日			18日		20日		21日		
介護予防検討 会		①24日		②26日		③26日		④29日 介護予防研修会 ①		②13日	⑤31日 ③26日		⑥7日		
地域包括ケアシステム 構築に向けた連携会 議	第1回 27日	第2回 29日	第3回 26日	第4回 27日	第5回 28日	第6回 25日	第7回 30日			第8回 21日		第9回 22日	第10回 29日		
広域（尾北医師会医サポ ートセンター）	江南保健所 管内 在宅医療・介護連携 会議					3日 連携ガイド更新	7日 連携ガイド更新 WG	アンケート実施	アンケート実施				8日 江南保健所管 内在宅医療・介 護連携推進会 議		
	行政部会	①24日						②							
	情報共有部会	10日(システムデ モ)		7日		23日			8日		30日 ICT体験	1日・3日 ICT体験			
	住民啓発部会		23日		25日	シナリオチーム 29日	26日		28日		23日		27日		
	退院時連携部会			20日			12日			7日			1日		



## 大口町在宅医療・介護連携事業全体会 開催しました！

健康生きがい課  
94-0051  
H30年3月発行

今回は、平成30年2月2日(金)の全体会の様子をお伝えします。  
～今回の内容は！～

- ・「平成29年度大口町地域包括ケアシステムの取り組み」
- ・「在宅でのチーム医療・介護の進め方」  
講師：国立長寿医療研究センター  
在宅連携医療部長 三浦久幸氏
- ・グループワーク 「連携の進め方」
- ・「在宅医療・介護連携をスムーズにするために」
  - ・びーよんネットの紹介
  - ・思いやりアクションブック(仮)の紹介



今回の全体会は、69名の方が出席していただきました。

28年度からの取り組みの課題を踏まえ、29年度の大口町の地域包括ケアシステムの構築に向けての経過を報告し、その中で持続可能な地域づくりに向けて、地域の強み、弱み、住民ニーズ、地域課題を整理する課程から地域の関係者を巻き込みながら進めることとして、大口町は「地域包括ケアシステムが町づくりである」と捉え、住民へのアプローチを始めたことをお伝えしました。

三浦先生のお話し「在宅でのチームケアの進め方」では、改めて「チームとは?」「在宅ケアで多職種連携が推奨される理由」から、職種別に抱く価値は異なるが、「ケアの目標を揃え、力を合わせる」ことがいかに大切かが、みなさんの中に新しい気づきとして落ちたようでした。

グループワークでは、「日頃の連携で、できていること、足りていないこと」を出し合いました。「できている」と思っていたことが、他職種から見ると、実は「できていない」と思われていたり、「足りていないこと」の「気づき」が、多々あったようでした。

医師会サポートセンターからの、「びーよんネット」や「思いやりアクションブック(仮)」の紹介は、とても反響があり、明日からの皆さんの行動につながる、参加者一人ひとりの「私のアクション宣言」をする上でも参考になり、みなさん熱い思いが宣言されていました。

全体会も今年で、3年目となり、顔の見える関係から、少しずつ多職種の皆さんがお近づきになってきたきたようで、日頃の業務や会が終わってからの情報交換や交流などの広がりがみられるようになってきました。

点と点がつながって、線になり、線が面になり、面が球となって「みんなが主役！ふつうにくらしつづけられる しあわせな地域(まち)大口」に向かって「チーム大口」として、動き始めた芽吹きを感じています～！

# 保健活動のまとめ

平成30年6月発行

編 集 大 口 町 健 康 福 祉 部 健 康 生 き が い 課  
(大 口 町 保 健 セ ン タ ー)  
丹 羽 郡 大 口 町 伝 右 一 丁 目 35 番 地  
電 話 0587 (94) 0051  
F A X 0587 (94) 0052

発 行 大 口 町

健康おおぐち21 シンボルマーク

